

あの時の鼓動は、今、ここにある。

あの日の記憶はたくさんある。
心のアルバムはいつもめくっていた。
でも今日は、目の前にあの頃の顔がある



第42回

旭川北高等学校同窓会

2007.8.11 SAT 18:00～ 旭川グランドホテル(旭川市6条通9丁目)



校 歌

mf 明るく普通の速さで

あ た - ら し - き ぶ ん か - の は な
 の さ ん - ら ん と や が て か ほ ら む み
 ぶ - き - よ - く や ま - む ら さ き に め
 ぐ - り - た - る ま な び の に は よ あ
 ふ る る よ ろ こ び い ざ て を と り て や
 む な き - あ ゆ み に ま こ と を と め む

校 歌

木村五一 作詞
 津田 甫 作曲

一、新しき文化の華の

燦爛とやがて薫らむ

水清く山紫に

めぐりたる学びの庭よ

溢れる歓喜いざ手を把りて

止むなき向上に真理を求めむ

二、逞しき腕の力は

遠つ代の祖に承けたり

汗あゆるその勤労の

成せる郷土豊けき穰

とこしへ栄行くこの世に生きて

止むなき教養清純を讃めむ

三、かぐはしき緑の夕

白瑤の樹氷咲く朝

眉秀で魂澄む子等が

まどろして誉を謳ふ

見よ見よ祖国の前途は新

止むなき希望に光明を添へむ

あの時の鼓動は、
今、
ここに
ある。

CONTENTS

目次

同窓会長あいさつ	1
学校長あいさつ	2
平成18年度会務決算報告	3
同窓会規約	4
札幌・東京・岩手同窓会から	5
恩師から	7
あの卒業生は今!?!	12
通信回線を利用した遠隔キャリア教育	19
同窓生から	21
今春の進路状況	23
部活動報告	25
同窓会役員および幹事	31
実行委員長あいさつ	33
次期当番期あいさつ	33





北海道旭川北高等学校同窓会会長

西館勝友 (13期)

同窓会は青春時代に戻る時

国際社会、日本全国、地元北海道で活躍されている同窓の皆様、毎時も母校旭川北高に御支援と御協力を賜わり感謝申し上げます。今年も皆さんの絶大な後押しを受け、同窓の絆を更に強いものにする為に三十一期の皆さんが真剣に周到に準備をして頂き今日を迎えました。ありがとうございます。

同窓会からの近況ですが、昨年十月同窓の皆様にご協力頂きました「通信回線を利用した遠隔キャリア教育」の件で、今年六月一日「電波の日 情報通信月間記念式典」において、「北海道テレコム懇談会会長賞」と云う大変大きな賞を旭川北高が頂きました。当日は札幌の式典に学校長と共に生徒会長の櫻庭真彩さんが参加致しました。学校長の御配慮に感謝申し上げます。民間で受賞するのは難しい賞だと聞いておりますが、この事がきっかけでキャリア教育がもっと広く認識されたらと思いますし、旭川北高の名声と共に、北高の歴史の一頁に大きく永く残ってもらえたら幸いと思います。

七月七〜八日恒例の北高祭(第五十四回)が開催され九年目になりますが、同窓会

テントを出しました。十三期を始め先輩、後輩の皆さんが詰めて頂き同窓会役員の皆様から寄贈して頂いた品々の売り上げで例年より多く、生徒会に贈呈出来ます。御世話頂いた役員の皆様に御礼と感謝を申し上げ報告させて頂きます。

道内におられる方は六月からすでに御承知と思いますが、十五期の中島尚俊さんがJ.R北海道の社長に就任されました。中島さんは教育大附属小、中学校、北高まで旭川在住でした。旭川には旧知の友人が多数いる事も承知ですが札幌同窓会長もお引受け頂いている関係から、旭川北高同窓会、同期が発起人になり、七月三十一日お祝いでは無く、「中島社長を応援する集い」として開催させて頂きました。旭川市の例を一つ取っても「北彩都あさひかわ」による高架駅と共に駅周辺開発の最中でありまして、大規模な組織の中で兎に角頑張つて頂きたいと云う同窓、同期の想いから「応援」と云う言葉にさせて頂きました。同窓、同期の御高配に深く御礼申し上げます。全国の大企業や著名な企業の役員の方も大勢おられます。どうか総会、ノースウインド発刊の時期

に合わせて御寄稿頂ければ幸いです。本年もこの総会に学校長、教頭先生皆さんに御参会頂きありがとうございます。北高の現況を聞かせて頂く事も同窓生が一緒に期待している所です。

又、毎年御多忙の中、河原東京同窓会長、牛崎岩手同窓会長、中島札幌同窓会長、名寄、宗谷の皆様と支部役員の皆様に御参会頂き心から御礼申し上げます。

同窓会会場に一歩足を踏み入れたら全ての同窓生が一瞬にして熱い青春時代、下駄と学生服、セーラー服姿に戻ります。これが何と云っても同窓会の最高にいい所です。

今日は総会後も夫々の同期会で更に語り明かしましょう。カンニングの話、早メシをした事、もう少しで停学になりそうになった事、食堂のうまかったラーメン、好きだったあの人の話、いくら時間が有っても足りないはずです。西分実行委員長と当番期の皆さんが苦勞をし乍ら準備をして頂きました。本当に御苦勞様です。御礼申し上げます。当番期が終わった後何らかの形で同窓会に関わりを持って頂く事をお願いして御挨拶と致します。



北海道旭川北高等学校長

牧野 篤

変化の潮流を好機として

進学重視型単位制に移行し二年目を迎えました。単位制は現一、二年生までで、三年生は最後の学年制ですが、うち一クラスの英語科も今年度限りとなります。昭和四十五年に設置された英語科の閉科にあたり、今年十二月に英語科出身者による講演会を開催したいと考えております。時代の趨勢とはいえ、学校がこれまでと違ったシステムに移行したり、果ては、かつてあったものが無くなるような事態が現実のものとなると、内心複雑なものがあります。現場の人間でさえこうであるから、同窓生各位におかれては旧懐、憂慮等、錯綜する思いは如何ばかりかと存じます。

勝利の女神を味方にするには、そ

の前髪を掴めといいますが。教育を巡る少子化や財政難など、急激な変化の潮流を受けながら、単位制導入での教えを実践できた本校は、関係各位のご協力により活発な教育活動を進めています。

進路状況を見ると、百八名の現役生が全国の国公立大学に合格しています。卒業生に占める国公立大現役合格者の割合は四十五%であり、北大に十五名の他、久しぶりに地元旭川医大の医学部に合格者を出しました。昭和四〇年代の北高『黄金期』にはまだまだ及びませんが、現役合格率では取り敢えず目標に掲げてきた道内ベストテンに入ることができました。

もう一つ特筆しなければならぬ

のは、昨年十月に東京同窓会のご尽力で実施した「通信回線による遠隔キャリア教育」が、北海道総合通信局関連の北海道テレコム懇談会会長賞をいただいたことです。この事業は進路学習の一環として東京と旭川を通信回線で結び、体育館の大画面上で本校生徒が三名の大先輩の話を聞くというもので、全国的にも画期的な取組でした。六月一日の電波の日に櫻庭真彩生徒会長と表彰式に参加して参りました。

新たな北高としての成果はこれからですが、同窓生の皆様には今後とも暖かいご支援をお願いいたします。

平成18年度会務報告

- 18年4月18日 ● 役員会・幹事長会議（ポスター・チケット配布）
- 6月24日 ● 第4回役員会（学校祭参加対応）
- 7月8・9日 ● 北高等学校祭
- 7月24日 ● 学校祭益金贈呈
- （校長室にて…西館会長、遠藤総務部長出席）
- 8月12日 ● 第41回同窓会総会（旭川グランドホテル）ゴルフコンペ
- 9月22日 ● 次期当番期引継会（旭川グランドホテル）
- （西館会長、石田、山内副会長、総務部）
- 9月26日 ● 「キャリア教育」報道発表
- （市役所3F市政記者クラブにて）
- 9月26日 ● 第一回役員会（旭川グランドホテル）
- 10月24日 ● 北高タイム「通信回線を利用した遠隔キャリア教育」
- （北高体育館 I-I-J会議室）
- 10月27日 ● 札幌同窓会（西館会長ほか5名出席）
- 12月18日 ● 第一回役員会
- 19年1月27日 ● 第二回役員会・幹事会（新年会）
- （旭川グランドホテル）
- 2月28日 ● 同窓会入会式・ノースウインド第十四号発刊
- 3月1日 ● 北高卒業式（西館会長ほか役員出席）
- 4月9日 ● 北高卒業式（西館会長ほか役員出席）
- 4月17日 ● 役員・幹事長会議（ポスター・チケット配布）
- 5月24日 ● 会計監査会
- （西館会長、山本・土肥会計監査、東海林会計部長、遠藤総務部長）
- 6月23日 ● 第4回役員会（学校祭対応、総会準備点検）
- 7月7・8日 ● 北高等学校祭
- 8月11日 ● 第四十二回同窓会総会（旭川グランドホテル）

旭川北高同窓会平成18年度一般会計決算書

◎収入の部

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	比較増減	摘 要
1 繰越金	106,389	106,389	0	
2 同窓会費	1,170,000	1,179,000	9,000	
1 入会金	510,000	510,000	0	255名×2,000円
2 終身会費	660,000	669,000	9,000	223名×3,000円
3 雑収入	11	17	6	
合 計	1,276,400	1,285,406	9,006	

◎支出決算

(単位:円)

収入額	支出額	残高
1,285,406	1,174,600	110,806

残額110,806円は次年度へ繰越

◎平成18年度 特別会計決算書

(単位:円)

収 入 の 部	支 出 の 部	残 金		
第41回総会準備金返還	300,000	第42回総会準備金貸付	300,000	606,183 (次年度へ繰り越)
北高7期御祝儀	25,000	ご招待者(北高7期生)会費	10,000	
貯金利子(定額・通常)	31	遠隔キャリア教育	210,000	
前年度繰越金	801,152			
合 計	1,126,183	合 計	520,000	

◎支出の部

(単位:円)

区 分	予算額	決算額	比較増減	摘 要
1 総務費	894,000	810,400	▲83,600	
(1) 事務費	25,000	20,940	▲4,060	消耗品費
(2) 会議費	300,000	269,010	▲30,990	役員会、幹事長会等開催費
(3) 通信費	30,000	32,000	2,000	切手、はがき、電話代
(4) 印刷費	25,000	20,000	▲5,000	会議開催案内状等印刷費
(5) 慶弔費	30,000	21,500	▲8,500	香典、生花、弔電
(6) 支部活動費	110,000	110,000	0	札幌同窓会出席旅費、活動助成金
(7) 学校事務費	20,000	0	▲20,000	学校事務局謝礼
(8) 後援会費	144,000	144,000	0	学校後援会費
(9) 卒業記念品費	150,000	132,050	▲17,950	卒業生記念品
(10) 後援事業費	30,000	30,000	0	学校祭協力費
(11) 雑支出	30,000	30,000	0	後援会参加諸経費
2 文化費	270,000	264,200	▲5,800	ノースウインド第14号印刷費、活動費
3 予備費	112,400	100,000	▲12,400	遠隔キャリア教育
合 計	1,276,400	1,174,600	▲101,800	

◎同窓会資産

(単位:円)

累 積 額	平成18年度積立額	合計累積額	摘 要
9,012,408	152,448	9,164,856	積立額は通常、定額貯金の利息

◎同窓会記念事業基金

(単位:円)

累 積 額	平成18年度積立額	平成18年度支出額	合計累積額	摘 要
1,439,488	200,054	0	1,639,542	積立額は実行委より寄付金と通常貯金の利子

北海道旭川北高等学校

同窓会規約

第1章 総 則

第1条 本会は、北海道旭川北高等学校同窓会と称する。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて北海道旭川北高等学校の健全なる発展に寄与することをもって目的とする。

第3条 本会は、その事務局を北海道旭川市花咲町3丁目北海道旭川北高等学校に置く。

第2章 事 業

第4条 本会は、その目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員の親睦を図ること。
- (2) 会誌及び会員名簿の発行
- (3) その他本会の目的を達成するために必要と認める事業

第3章 会 員

第5条 本会は、次の各号に該当する者をもつて構成する。

- (1) 旭川市立中学校卒業生
- (2) 旭川市立高等学校卒業生
- (3) 旭川北高等学校卒業生
- (4) (1)(2)(3)各号以外(転・退学した者)で、本会に入会を希望する者。

第4章 顧 問

第6条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会において推挙する。

第7条 顧問は、役員会の諮問に応ずるものとする。

第5章 役 員

第8条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|---------------|-------|
| (1) 会 長 | 1名 |
| (2) 副 会 長 | 若干名 |
| (3) 会 計 監 査 | 3名 |
| (4) 総 務 部 長 | 1名 |
| (5) 総 務 副 部 長 | 若干名 |
| (6) 会 計 部 長 | 1名 |
| (7) 会 計 副 部 長 | 若干名 |
| (8) 文 化 部 長 | 1名 |
| (9) 文 化 副 部 長 | 若干名 |
| (10) 幹 事 長 | 各期毎1名 |

第9条 会長、副会長は、総会において会員の中から選出する。
ただし、再選を妨げない。

2 会長は、本会を代表し、会務を統理する。
3 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。

第10条 第8条の役員のほか、各期各組から1名ずつ幹事を選出し、各期ごとに幹事長1名及び副幹事長2名を推薦し、会長これを委嘱する。ただし、定時制にあつては幹事長のみとすることができ。

2 幹事長は、同期を代表し、かつ統括する。
3 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長事故あるときはこれを代理する。
4 幹事は、各組の取りまとめに当たる。
第11条 会計監査は、総会において会員の中から選出する。ただし、再選を妨げない。
2 会計監査は、本会の経理を監査する。

第12条 各役員の任期は、2年とする。ただし、任期満了後でも後任者が決定するまでは、引き続きその任にあたるものとする。

第6章 総 会

第13条 総会は、定例総会及び臨時総会とし、

議決は出席者の過半数をもつてし、賛否同数のときは議長これを決す。

- 2 定例総会の開催時期は、前年度の定例総会において決定する。
- 3 定例総会の運営は、各期毎の当番でこれにあたる。
- 4 臨時総会は、会長が必要と認めたとときに、役員会の決定をもつて会長これを招集する。

第14条 総会は、次のことを審議する。
(1) 会務の報告
(2) 決算の承認
(3) 規約の改正
(4) 役員を選出
(5) その他必要な事項

第7章 役員会及び幹事長会

第15条 本会の役員会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長をもつて構成し、会長これを招集する。
2 本会の幹事長会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長及び幹事長をもつて構成し、会長これを招集する。

第16条 役員会の議決は、出席者の過半数をもつてし、賛否同数のときは、議長これを決する。
第17条 会員は、役員会に出席して意見を述べることが出来る。
第18条 本会には、次の部会を置き会務を分担する。

- (1) 総務部
 - ア 総会及び役員会に関すること。
 - イ 規約の改廃に関すること。
 - ウ 本会の渉外事務に関すること。
 - エ 支部の結成及び支部との連絡調整に関すること。
 - オ その他庶務一般に関すること。

(2) 会計部

- ア 本会の会計に関すること。
- (3) 文化部
 - ア 会誌及び会員名簿の発行に関すること。
 - イ 会員の親睦を図り、文化厚生活動に関すること。

第8章 会 計

第19条 本会の経費は、入会金二、〇〇〇円、終身会費三、〇〇〇円及び寄付金をもつてあつて。

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年の3月31日をもって終わる。

第9章 事 務 局

第21条 事務局は、若干名の事務員を置き、本会の事務を処理する。
2 事務局員は、会長これを委嘱する。

第10章 規約の改正

- 第22条 本規約は、総会の承認がなければ改廃できない。
- | | |
|---------------------|-------------|
| 第19条 | S 50.9.6改正 |
| 第19条 | S 53.9.2改正 |
| 第19条 | S 57.8.4改正 |
| 第19条2項 | S 58.8.13改正 |
| 第19条 | S 63.8.7改正 |
| 第19条 | H 2.8.11改正 |
| 第4条・第8条・第10条・第11条 | H 4.8.8改正 |
| 第15条・第17条・第18条・第20条 | H 7.8.12改正 |
| 第5条4項 | H 9.8.9改正 |
| 第19条 | H 9.8.9改正 |

札幌・東京・岩手から……

『札幌同窓会の近況』



旭川北高校札幌同窓会会長

中島尚俊
(北十五期)

昨年十月二十七日、札幌同窓会の総会において、坂下前会長（北高八期）の後を引き継ぐことになりました。坂下前会長には、任期途中ということでもあり、あと一年会長職に留まっていただけのようにお願いを致しましたが、本部の西館会長は十三期なので、札幌同窓会も若返る必要があるということで、強引に（？）会長を引き受けさせられることとなりました。副会長には武田寛氏（北高十六期）、風間透氏（北高十七期）、事務局長には吉野伸一氏（北高十八期）と、団塊の世代が役員を務めることになりました。副会長のお二方はそれぞれ事務局長を経験され、長年同窓会のお手伝いをしていただいております、会員の方々も良く知っておられるので、大変心強い布陣となりました。

札幌同窓会は一、五〇〇名を超える会員が名簿に登録されています。特に市中一期から北高十四期まで、六十才以上の会員が全体の五〇%以上を占め、毎年の例会にも出席率が高く、若い会員が圧倒される勢いを誇っています。一方で北高三十期以降の会員数が少なく、この年代の会員の数をいかに増加させていくかが、最大の課題となっています。皆さんからの情報をぜひお待ちしております。札幌同窓会では年一回、十月末に総会を開催しています。旭川からは、同窓会長をはじめ各役員の皆さん、旭川北高の校長先生にご出席いただき、最近の学校の状況などの報告をいただいています。例年参加者が百名前後ですので、もっと多くの方に参加していただく工夫が必要だと感じています。本年も八月一日に幹事会を開催して、総会の日程を決定し、準備に取りかかりたいと考えています。今年度は三年に一度の名簿作成の年に当たっています。昨今の個人情報保護の観点から名簿作成について、いろいろ御意見をいただいています。しかしながら名簿は同窓会活動のベースとなるものですから、ご本人の同意、掲載内容の再検討を行って、是非継続して行きたいと考えています。

札幌同窓会の会員増加と活性化に努力したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

『東京同窓会へどうぞ！』



旭川北高校東京同窓会副会長

丹保冬司夫
(北十三期)

二年に一度の同窓会の年となり役員、各期幹事一同準備に追われている昨今です。

今回は九月二十二日（土）に開催されますが、旭川、道内から出席され在京組と楽しい交流の一時を過ごしませんか！

小中学、クラブ、近所の先後輩との再会、語らひは懐かしくも、嬉しいものです。

今回の同窓会の余興のお知らせもしておきましょう。十一期、佐林勲さんによる「安来節」（元・甲子園球児による、どじょうすくい）、必見。二期会にて活躍中の十二期、佐々木紀夫さんによる「千の風にとつて」他数曲のすばらしい唄の披露があります。又、例年好評の故郷物産争奪ビンゴゲーム開催。

終了後の各期に別れての同期会、姿かたちの変わった顔見ながらの、高校時代の思い出話は尽きず、つい酒量の増えるのはいたしかたのないことです。

我が十三期ですが、今回も旭川・札幌等から西館会長以下十数名が上京するとの予告あり、賑やかな同窓・同期会になりそうです。六月に、人気者幹事長の〇君を亡くしたばかりですが、追悼も兼ね賑やかな二日間になることでしょう。十三期は、結束固く旭川、東京それぞれ四十歳過ぎから何度も温泉旅行同期会行い、五十五歳と六十歳還暦時には二十数名が帰郷し一〇〇名近くの大同期会も行ってきたが、今後も元気な内に何か理由を見つけて交流しようと話し合っています。

さて、東京同窓会も課題を抱えています。会への参加人員が減少傾向に成ってきている事です。初期の頃は二〇〇名超でしたが、前回は連休中のせいもあつたが一四〇名にやや寂しい人数。要因は高齢化と、五十歳以下の若手？の出席が極端に少ないこと、今回からシルバースーツを用意するが、このままいくと「老總會」にならかねません。出席者増、会の活性化の為に旭川から在京の仲間に、参加の発信をお願いしたいし、今回の同窓会上京され相互の交流を深めて頂くのが今後の東京同窓会発展の源と思います、ぜひ協力下さい。お待ちしております。

第13回 東京同窓会

会場

マリオット東京銀座ホテル
東京都中央区銀座六一十四
電話(〇三)三五四六〇一一

日時

平成十九年九月二十二日(土)
十二時三十分～十四時三十分

『我がふるさと旭川』



旭川北高校岩手同窓会会長

牛崎 瞭 二

(北六期)

今年古希を迎えたこともあり、又内地(本州のこと)へ渡って半世紀が経ち、増々「故郷」に対する熱い想いが募って来るところです。

初めて連絡船で津軽海峡を越えた当時、将来は定年退職後に「必ず戻りたい」と云う強い気持ちがありました。

その後の日常生活に於いても、ラジオ・テレビ等で旭川の地名や話題等が流れて来ると仕事の手を休めてまでも聞き入ったものです。特に冬の時季になると天気予報、中でも気温が大変に気になりました。

旭川と云えば、日本一寒いと云うイメージが強くなります。

私が小学校一年生(昭和十九年)ころに、マイナス三十二度三度を体験した記憶があります。その時は牛乳・酒は勿論のこと醤油までも凍るほど寒い寒さでした。

今でこそ、夏には「北海道へ北海道へ」と観光客で賑わっては居りますが、温暖化とは云え矢張り冬の厳しい寒さであることには、現在も変りのないことと思います。

旭川にも誇れることが多々あると思いますが、その中の一つとして昭和三十五年前後ころ「NHK全国学校唱歌コンクール大会」に於いて小学校の部一位(啓明?小学校)、中学校の部一位(北星中学校)、

高等学校の部では僅小差の二位に我が(旭川北高等学校)と云う快挙を成し遂げて一躍全国的に「合唱の街」として印象付けた経緯がありました。

最近のピック・ニュースとしては、旭山動物園が彼の上野動物園を抜いて全国一になったことで大変に喜ばしく嬉しい限りです。

「故郷」を離れた人は誰でも「思い出の山思い出の川」が頭に浮かぶのではないのでしょうか。

私も旭川へ行く際神居古潭く近文駅を過ぎ石狩川に架かる旭橋の背景に大雪連峰が目に入ると「生まれ故郷に帰ったんだ」と胸が高鳴りジンと来ます。

その逆に盛岡へ戻る時は、岩手山や北上川を見ると今は第二の故郷であり気持ちが落ち着きます。

最後に、石川啄木の詩を拝借して

ふるさとの 山に向ひて

言ふことなし ふるさとの山は

ありがたきかな

かきかくに 旭川市は

恋しかり おもひでの山

おもひでの川



恩師の近況



六組担任/古村雅彦先生におかれましては、平成6年にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

1 組



高齢者のたわごと

原 順一

旭川北高の同窓会開催を心よりお祝い申し上げ、三十一期卒業生の皆さんの早くからの準備・取り組みにより盛大に行われることを誠に喜ばしく思います。

さて、お祝いの言葉にはならないが、高齢者のたわごとを述べます。六年前に三十七年間の勤務を終えた。三年前、同窓会は、ときには、過去を振り返ってみようというタイトルであった。今回も、自分の歩んだ過去を振り返ると、当時、ただ、多忙でまともなことは何もやっていなかった。北高の十五年間は卒業生の皆さんの支えで日々を過ごしていたと思っている。職を辞したあとも、やり直しのできない人生に反省の明け暮れである。

次のたわごと。六十五歳までは現役という時代の到来。自分も三月末

まで仕事を通じて若い人から大きなパワーをもらった。だから、高齢者と思っていない。このあと、奉仕活動に関わってみようと考えている。本当に困っている高齢者や子どもたちのためにもう一度汗を流してみたいと、今、見習中である。現実には、なかなか難しい。これも反省のもとに、微力を注いでいるが、果たして役にたてるか。

終わりに、まじめなたわごと。自分が在職中の北高は、一クラスの人数も多く、一年一〇クラスという賑やかで活力があつた時代であつた。現在は、少子化で規模は小さくなつたが、今もよき伝統のもと、地域で魅力ある学校である。改めて、皆で、外から北高を力強くささえ応援しようではありませんか。

2 組



「PPKをめざして」

三 栗 毅

第四十二回の同窓会の招待状をいただき、前回参加したのは、ニュー北海ホテルが取り壊される前で、四年が過ぎてしまったのかと思いい出してます。加齢とともに一年の長さが本当に短かくなります。私が旭川北高に勤めさせていただいたのは二十九才く三十八才までの九年間でした。三十一期生はその時の私の年令をとくに越えている訳で感慨無量です。皆さんは今社会の中堅として活躍のことと思います。

暑い夏がくると、球技大会、運動会で一時受験勉強のことを忘れ、汗だくになって、青春の炎を燃やし打ち込んでいた時の情景が思い出されます。卒業後二十数年たち、町であつてもお互いにわからないのだろうと思えます。

私は旭川のと夕張、長沼、札幌、留辺蘂、南幌と渡り歩き、五年前に無事に退職いたしました。現在一週間のうち三日間会社で働いています。現役中一時体重が八十Kgになり膝痛、腰痛、肩痛に悩まされましたが、一念発起して、ウォーキングから始めジョギング、

フィットネスクラブでの筋力トレーニングを実践し現在六十五kgに体重を落とし、痛みから解放されました。三年前からランニングクラブに入りハーフマラソン、フルマラソンに挑戦しています。北海道マラソンの完走を目指しています。栄養、運動、休養のバランスを保つことが健康の基礎であることを改めて、体験したところです。健康で加齢しPPK（ピンピンコロ）を目標にしていますがどうなることやら、皆さんも健康を大切に、いつまでも無理が利くわけではないですよ。



3 組



『雑感—筆のままに—』

高 橋 徹

子日く、「…六十而耳順」と。六十にもなると知識広博、何を聞いてもすらすらわかり、毀誉褒貶に超然たる境地に達したと孔子は言う。

最近を受験とか教えると言う束縛から解放された所為もあり、気ままに歳書を繙いている。ある時は藤沢周平、山本周吾郎、司馬遼太郎、ある時は「つれづれなるままに」古文を漢文をと。

それにしても孔子はずいの一語です。私なんぞは読んだ片端から右から左に抜けていくし、わからぬことばかりである。椅子から立ち上がった瞬間に忘れていたり、二階に上がった「はて、何で来たのだった？」という始末。まして毀誉に超然としてはいられない。やがて来る七十歳になって「心の欲する所に従へども矩を踰えず」と言うが、そうはならないだろう。（比較するのが無理ですね）今はせめて頑迷にならず惚けもせずに生きたいと思っている。

さて、今回当番の三十一期生が卒業したのは昭和五十六年ですね。北高は当時、校舎新築完成・移転と旧校舎取り壊しと落成。諸君は共通一次三回生になるのだろうか。私は当時三十代後半でした。今の君たちより若干若かった。北高生の九八%は進学を目指しており、迷いながらも自己実現に懸命に取り組んでいた。ガサツでもない、頭デッカチでもない、礼をわきまえたバランスのとれた「魂澄む」生徒が大勢いて、私自身が学ぶところが多かった。子日く「質、文に勝てば則ち野なり。文、質に勝てば則ち史なり。文質彬彬として然る後に君子なり」と。良い生徒と環境に恵まれ楽しく充実した北高での生活でした。有り難うございました。

最後になりましたが、同窓生諸氏のご健康と、ますますの御活躍を祈念して擲筆致します。

4 組

夜の信者から
朝の信者へ

平原正道

夜考えることと、朝考えることは、同じ人間でも、かなり違っているのではないか、ということは何年か前に気づいた。朝の考えは夜の考えとはなぜ同じではないのか。考えてみるとおもしろい問題である。

夜、寝る前に書いた手紙を、朝、目をさましてから、読み返してみると、どうしてこんなことを書いてしまったのか、とわれながら不思議である。

外国で出た手紙の心得を書いた本に、感情的になつて書いた手紙は、かならず、一晩そのままにしておいて、翌日、読みかえしてから投函せよ。一晩たつてみると、そのまま出すのがためらわれることがすくなくない。そういう注意があつた。現実的な知恵である。

それに、どうも朝の頭の方が、夜の頭よりも、優秀であるらしい。夜、

さんざんてこずつて、うまく行かなかつた仕事があるとす。これはダメ。明日の朝にしよう、と思う。心のどこかで、「きょうできることをあすに延ばすな」ということわざが頭をかすめる。それをおさえて寝てしまう。

朝になつて、もう一度、挑んでみる。すると、どうだ。ゆうべはあんなに手におえなかつた問題がするすると片づいてしまうではないか。昨夜のことがまるで夢のようである。

はじめのうちは、そういうことがあつても、偶然だと思つていた。夜の信者だつたからであろう。

やがて、これはおかしいと考えるようになった。偶然にしては同じことがあまりにも多すぎる。おそまきながら、朝と夜とでは、同じ人間でありながら、人が違うことを思い知らされたというわけである。

5 組



「私は北高応援団！」

藤見弘道

まずは旭川北高等学校第四十二回同窓会総会の開催を心からお祝い申し上げます。

さて、私は昭和三十九年に北海道の高等学校教員に採用され、三十八年もの長い間務めさせて戴き平成十四年三月退職致しました。

初任の高校では、校長先生から大勢の生徒諸君に新任教員の紹介があり、その後、直に「先生」と呼ばれ、誰を呼んでいるのかなあ」と振り返つて見ると、自分のことであり、正しく教員になったんだ、と実感しました。また、童顔(?)のせいもあつてか、修学旅行の引率を始めとして対外的な場面では生徒と間違われたこともあつたものです。

二校目が「旭川北高等学校」でした。旭川北高に転勤の内示を受けた後、北高を知る先輩の教師から北高のことを色々教えてもらいましたが、その中の一つに北高が「文武両道にとっても秀でた高校である」ということでした。このことは赴任しやすく実感しました。北高生の皆さんは学術優秀にして品行方正、部活動も活発、正に文句無しでしたね。ただ、赴任して間もない頃は学生運動が頗る活発な時期で、体育館では定かにはわからなかつたが誰かが仲間と徒党を組み、当時の生徒指導部長の先生等を取り囲んで何かのことで先生に自己反省(?)らしきものを迫つていく様子も見受けられ、驚きと同時に大変な学校に來てしまつたものだ、と正直思つたこともありました。

さて、学級担任になり、当時北高では学期毎に父母懇談会がありましたが、親ほど年の離れたご父母に対して、子供の教育は斯るべし、などと今思えば何と小生意気なことを腹もなく云つていたものだ、と氣恥すかしく思い起こされます。

時は正に矢の如く流れ、遠慮すること知らないように流れ去り、受け持つ子らの父母も己と変わらない年代となり、更に己より遥か若き年齢の層になり、多少の余裕を持つて世間話を交えながら教育談議に花を吹かせることが出来るようになっていました。

悩み多き青春の真只中にある高校生徒は、十八世紀フランスの啓蒙思想家ルソーの言葉を借りれば「第二の誕生」のときと云われます。即ち「私たは、二回の世に生まれる。はじめは存在(肉體)するのために、二回生きている(精神)ために、云々」。この生きるため、即ち思春期の情念に直面している高校生を育てる

ことは決して容易なことではありません。私が原稿の依頼を受けた三十一期の同窓生の皆さんは親として、正にこの難問、しかし遣り甲斐のある諸問題に直面している時期かもしれませぬ。しかし、教師を天職とすることが出来た私にとつては、この春秋に富む若者達と第二の誕生の悩みを語り合える教師と云う職業は何と素晴らしい、何と素敵な仕事なのであつたのか、と今更ながら本当に良かったなあとつくづく思われます。翻つて考えるに、私がめぐり合った生徒の皆さん方が素晴らしいから、の一言に尽きるのです。私自身、もつともつと生徒たちに何かをしてあげたかつた、と反省するはかりです。今年同窓会総会の実行委員を務められる三十一期生の皆さん方は、夫々が職場で重要な役割に就き、あるいはご家庭を守り、立派に活躍されていることと思います。

戦後半世紀以上も経て、経済的には日本人にもようやくやくゆとりらしきものが生じ、子供たちにとつても「勝手に育て」から、「一人ひとりがかけがえのない大切な存在」として大事に大事に扱われ、本当に幸せな時代になった。と我々六十歳以上の方がかつて幼かりし頃、進駐軍の脱脂粉乳、更に昼食代わりのジャガイモや澱粉質を栄養源とし、しかもそれらの食べ物をフリスのバケツに入れられて配給され、ようやくつと命を繋ぐことができた時代のが恨めしくも、又、懐かしくも思われ、今の日本の子供たちは何とも(物には)恵まれていてることなのか、と思われたいもします。しかし、「物質的には豊か」であつても、いじめに代表される現代の「心の貧しさ」と比べて、果たしてどちらが幸せなのかと考えさせられます。

楽しい楽しい数学(生徒にとっては救世主だったのか、と反省)の授業やHR活動、各種の行事、部活動などなど、また、木造校舎での隙間風が吹き荒れた中での授業、球技大会、北高祭、そしてその打ち上げ、また花吹雪三丁目に校並木が昔あり、同僚の先生方と満開の花の下でのごよなく一升瓶を愛でてひの時、思い起こすと北高時代の色々なことが懐かしくやや萎縮しかけた胸裏を駆け巡つて來ます。

この拙稿を書く機会を与えてくださった同窓生の皆さん方に感謝の念を申し上げ、私自身、人様に迷惑をかけないようまず健康第一を心がけ、いつまでも旭川北高等学校の応援団でいたいと思つております。

7 組



むかしさがし

土田 紘一

北高を定年退職した二年後から、日本アルプスとその周辺を放浪しています。毎年四週間、今度で六年目となります。

庄内平野、酒田市で中高生時代を過ごしました。中二から高二まで、仲間四人と鳥海山に登っていました。土曜放課後、三駅区間は汽車、登山口までの四キロは徒歩、三合目でテント泊、翌朝早立ちしてもなかなか山頂に着けない山登りを繰り返していました。

日高山地には、テントと三日分の食料・水を持たないと辿り着けないピークがあります。これはとても無理。

山小屋のある日本アルプスでは、中高生時代に出来なかつた朝日を浴びる山頂からの眺望も楽しめます。里山さがし、むかしさがしをしているのですね。

水泳・スキー・日帰り登山を続けていますが、欠かせないのは腰痛緩和のための整形外科通院です。脊椎索引をして貰っている二十分間、横になると、ジャック（旭山オランウータ

ン）が声をかけてきます。

「二足歩行だもんなあ」。

隣家の空地をお借りし畑にしました。四つん這いになって草取りをしていると気持ちがとても和むのです。面貌、苗字（ツチダ）のせいと納得しているかと、またジャックが一言、「それだけかあ」。

「九条の会」ではDVD係、環境保護団体には会計担当として、二つの事務局に加えていた。だき結構忙しくしています。ジャック君の嘲笑を避けることは出来なくとも、未来人が「むかしさがし」をしたときの目線が此方に向ければ、「美しい地球を壊した！」と咎められては堪らない、と思つてのことです。

森村誠一「虚無の道標」を十年ぶりで読み返したところです。舞台になった北アルプス雲ノ平一周への思いが募ります。

幹事各位のご労苦に感謝申し上げます。ご盛会を祈念いたしております。

8 組



後生畏るべし

芝木 邦夫

一九九四年に退職した。二一年間勤務した職場であるから、なにがしかの感慨もなくはない。でも三月の末まで出勤していたし、四月から北高と実高で非常勤講師をすることになったので、退職の実感あまり湧かなかつた。両校あわせての担当時数は退職前

とほとんど変わらないし教育大の講義を加えるとむしろきつい。ただ、これで振り出しに戻つたというおもいはあつた。

なにせ、大学院の五年間を含めて八年間非常勤講師をしてきて、モラトリアムの生活から足を洗つた訳だから、かえつて、そういう生活の方が身に付いたものようだし、また意識の面では往時の仕事の世界へ身を移すようなものだと思つた。学生時代の生活にまた戻れるともおもつたのである。

この十三年で、自らに課していくつも抱え込んでいた仕事にも、何がしかの進捗もあつたし、行きがかり上始め

た仕事も、楽しい思いと共に先が見えてきた。でも、まだ人生の残務整理というには抵抗もあるから、たとえ未完に終つたとしても、それはそれまで。興味のおもむくままに、新しいテーマに手を染めてゆこうとも思う。

癩だが「秀でて実らざる者あり」と孔子様はのたまう。秀とは穂になることである。穂は出たが結実しないなんていうのはよくあることである。努力工夫につねに成果がついてまわるとは限らない。いろいろな条件の相乗の結果として納得出来る成果も得られようというものである。

「後生畏るべし」という。若い人たちの端倪すべからざる可能性に期待を寄せる言葉である。老兵を乗り越えて夫々の持ち場で力を発揮してもらいたいものである。缶ビール片手に他人がボールを蹴飛ばしたり、棒を振り回したりするのを眺めるだけの人生は頂けない。

9 組

ボランテニア
活動の楽しさ

大井輝男

旭川北高校には昭和四十四年四月から六十二年三月まで教職生活の丁度半分の十九年間に亘って在職しました。

昭和四十五年に英語科第一期生の担任となり、そのあと英語科担任として四度卒業生を送り出しました。今回の幹事の三十一期生は卒業クラスが十組もあつたのを確認して少々驚いた次第です。卒業アルバムを見ながら当時の状況をいろいろ思い起こしています。AFSの留学生DAVID MEADOWSを一年間クラスに預かったことも思い出しました。四半世紀も経過すると記憶を取り戻すのに少し時間がかかる年齢になったことを実感しています。

札幌北高校に転勤して平成十一年三月月に退職し、その後、代々木ゼミナール札幌校・札幌北高校・大麻高校の講師を六年間勤めて平成十七年三月にすべての職から身を退きました。二年前から二十名ほどの幼稚園児や小学校低学年の子供たちにボランテニアとして英語を教え始めましたが、幼い子供た

ちの言語習得能力には感心するばかりです。ボランテニア活動の領域を徐々に広げていて、昨年十一月には北海道日本ハムファイターズ優勝パレードや今年二月のノルディックスキー世界選手権札幌大会のボランテニア活動に携わったりして楽しみました。スキー大会では毎日のように北欧の人たちと親しく交流を深めることができて得難い体験でした。特に観客として来日したノルウェーの人々のクロスカントリーに熱をあげる姿には感銘を受けました。

現在は札幌コンサートホールのボランテニアとして毎月定期的に活動しています。私の最大の趣味はクラシック音楽鑑賞で月に四・五回はコンサートに通っているのですが、今年からコンサートのダイレクトメールの発送や見学者のホール案内などの仕事もして、楽しみながらボランテニア活動をすることをモットーにしています。最後に同窓生の皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。

10 組



漕ぐ漕ぐ人生

石岡勝義

日本一周達成の八十歳のサイクリストが自宅を目前にしてトンネル内を走行中、後ろから来たトラックにはねられて死亡したそうです。

○五年、二十年かかった日本一周達成を目前にして、ゴールの姫路に近い大阪市西成区の国道で私は後ろから来た車にあやうく轢かれそうになり肝を冷やしたものです。

車道を走る自転車をも車もじゃまもの扱いしているので、自転車の旅からの生還はホント奇跡です。ウソだと思われるなら、たとえば瀬戸内海ぞいの国道二号線とか千葉から海ぞいの東京までの道路を走ってみてください。

私が芦別高校から北高に赴任してすぐのクラスが第三十一期、その二年後にランドナーというツアー車を購入して今日まで漕ぐ漕ぐ人生を送ってきました。現役のときはツアーは夏休み中だけでしたが、教師を廃業した今はいつでも行けま：せんね、これが。

在職中山岳部の指導の關係上、山に樂に登れるようにとジョギングを始めました。今も走っています。それから

北高の次に赴任した鷹栖高校ではクロスカントリー・スキーをおぼえました。というわけであれやこれや体を動かすことを続けたせいも、特に不調なところもなく、この調子なら「百歳万歳」

(NHK広島放送局) に出演できるのではないかと、ひそかに思っ、いませんよ。もつとも医者と病院が大嫌いで、検診のたぐいを一切受診してないので、何とかガンにおかされているのかもしれない。

去年隠し資金でドイツ製の折たたみ自転車を購入し、これからは青春十八キップなど使って走り残した海岸線をたどるつもりです。

とここまで書いて、支離滅裂な文章！やっぱりおつむの方はボケてきたわい。読書慾は旺盛なのだが、ダメか。さて、最後に一言。
自由な校風の北高万歳！





特集★北高リポーターが行く

あの卒業生は今!?

わか北高の卒業生の皆さんは現在何をしてらっしゃるのか?気になりますよね。
そんな声にお答えし、今回は北高リポーターが7名の卒業生の方々に、現在の近況に迫るべくお聞きしました。

私はドラマや映画の脚本を書く仕事をしているが、毎回悪戦苦闘と行き詰まりの連続で、たまにウマイ事あったかと思っても、すぐまた自信を失いかける状況に直面する。

今も自信喪失の真っ最中で、二十年以上も書いているのだから、もう少しキレイ本が書ければと思うと、自分が歯痒くなる。

そこで、ふと、自分の初心と言うものが、何であったのかと、考えてみた。

思えば、上京当初は、何のツテもないのに、思いだけで色んな人に会

『初心忘るべからず という言葉がある』

いに行き、作品が創れる状況を切り拓こうと必死だった。

何の根拠もないのに、面白いものが創れると強引に言い張り、相手の迷惑も顧みず、無理かも知れない扉を、叩いていた。

そういう身の程知らずの無謀さが、自分にとっての初心だったのかも知れない。

とりあえず、そう考えてみる事にしてみると、何だか気が楽になってくる。

よくよく考えれば、元々自信などないのに、気持ちだけで始めた仕事だ。そう思うと、一人前に行き詰まった気になったりする自分の傲慢さが、バカバカしくなる。

そんな事より、もっと無謀なチャ



特急田中3号
オフィシャル・ガイドブック



CHECK!

脚本家

橋本 裕志

(北高三十期)

●PROFILE●

《作品歴》

- 85年に上京し、『ストラスピーズ』等の演劇作品を作・演出。
- 88年より映像脚本の活動に入り、『外科室』『流★星』『仮面学園』『愛してよ』等の映画脚本、『幽遊白書』『忍空』『みどりのマキバオー』『ゲゲゲの鬼太郎』『ワンピース』等のアニメ脚本、『ショムニ』シリーズ、『ウォーターボーイズ』シリーズ、『Mの悲劇』『熟年離婚』『華麗なる一族』『特急田中3号』等のドラマ脚本を手がける。現在は来年公開予定の映画『フレフレ少女』の準備中。

「特急田中3号 オフィシャル・ガイドブック」

2007年6月22日発行 255P
橋本裕志著 リトルモア発行

【鉄道】ラブコメディがシナリオブックで登場!
ドラマ『華麗なる一族』の脚本で揺るぎ無い筆力を見せ付けた俊才、橋本裕志によるシナリオを完全収録!
さらに、プロデューサー・磯山晶(『木更津キャッツアイ』『タイガー&ドラゴン』ほか)による撮影前夜秘話や多数スチール、鉄道コラムなどが満載!

レンジを企んだ方がよほど健全だと開き直ると、好き勝手な発想が膨らんで、楽しくなってくるから不思議である。

CHECK!

ティンパニー奏者

高野 和彦
(北高二十六期)

●PROFILE●

- 1958年 旭川生まれ
武蔵野音楽大学卒業後
- 1981年 東京佼成ウインドオーケストラに入団
- 1983年 東京フィルハーモニー交響楽団に入団
首席打楽器奏者

《今後の活動》

- 8/26 東京オペラシティコンサートホール
 - こども音・楽・館2007 ミュージック・ラボ〜からだDEおんがく!
プロコフィエフ/組曲「ロメオとジュリエット」より 他
- 9/6 東京オペラシティコンサートホール
 - 第32回東京オペラシティ定期シリーズ
ドヴォルザーク/交響曲第7番 他
- 9/7 サントリーホール
 - 第739回サントリー定期シリーズ
ブラームス/ハイドンの主題による変奏曲 他
- 9/9 オーチャードホール
 - 第740回Bunkamuraオーチャード定期演奏会
ハイドン/チェロ協奏曲 八長調 Hob. VII b-1

指揮
チョン・ミョンフン主催
東京フィルハーモニー交響楽団

久しぶりに北高の卒業アルバムを開いてみた。そこには懐かしい校舎が写っていた。

あの頃の旭川では、かなり古い学校であったと記憶している。もう三十年も前のことだと改めて時の流れの早さに驚いた。

在学中は吹奏楽部に在籍していたが、あの階段の下の小さな部室を思い出す。

狭いのだが、何故か居心地が良かったのを覚えている。考えてみれば、ずっと太鼓を叩き続けている訳だが、現在はオーケストラで主にティンパニーを担当している。「のだめカンタービレ」の影響からか、今年は特にベートーヴェンの交響曲第七番を演奏するコンサ

ートが、多くなっている。(残念ながら「のだめ」の中のティンパニー奏者、真澄ちゃんのように、アフロヘアではないが……)

私が所属している東京フィルというオーケストラは、日本で一番古いオーケストラで、あと四年で創立百周年を迎える。

ステージでのコンサートだけでなく、テレビや名曲アルバム・FMの放送録音などもあるが、特に特徴的なのは、オペラ・バレエの演奏が多いことである。私が東京フィルのオーディションを受けたのも、学生時代に観た「夕鶴」というオペラに感動し、いつかオペラが出来るオーケストラに入りたいとい

う気持ちからであった。

「好きな事を仕事にしているのは幸せだね」とよく言われるが、確かにそうかも知れない。もともと、音楽は趣味にしておけば最高だったと考えたことも数知れず……。

しばらく旭川には戻っていませんが、ここ二・三年は、旭川市青少年吹奏楽団という市民バンドが、毎年三月に開催している定期演奏会に賛助出演する事で、旭川に足を運んでいる。

最後に、この文章を書くにあたり、懐かしの北高時代を思い出せた事に感謝!



私が陸上競技と出会ったのは、北高二年生の時でした。それまではずっとバスケットをしていましたが、自分にもっと熱くなれるものが欲しいと思い、思い切って陸上部の門を叩きました。始めた頃は全然楽しくありませんでした。ただ走るだけなのに、と軽い気持ちで入部してしまっただけを少し後悔したりもしました。しかし、とりあえず走ってみたら一〇〇mハードルで地区大会優勝、どんどんコマを進めて、そのままインターハイ出場も決まっ

ていました。まだ、自分でスパイクを買っていなかったため部室に転がっていたスパイクで走っていた頃です。そうになると、走るたびに記録が縮まるので楽しくて仕方なくなりました。勉強そつちのけで私は陸上競技にのめり込んで行きました。三年生になると、顧問の先生に「四〇〇mハードルをやってみないか?」と言われました。その時は、全く乗り気ではありませんでしたが、先生のその一言が私の人生を大きく変えました。嫌々四〇〇mハードルを走っていたその時から七年目がたちました。こんなに長く続けることになるとは誰も考えていなかったと思います。八年目に入った今年は、シーズ

ン開始直後から好記録が続く、四〇〇mハードルでとうとう日本記録を出すことができました。真つ先に高校時代の恩師にそのことを伝えました。一つの道を突き進んで行くということは簡単なことではありません。その道の途中には、色々な挫折や困難が待ち構えているからです。でも、だからこそ尊いものなのだと思います。私には、今大きな夢があります。それは、オリンピックで決勝の舞台に立つことです。スポーツ選手なら誰もが憧れる夢の舞台です。そこに到達するまでには、まだまだ厳しい道のりが続きますが、大きな夢があるからこそ頑張れることはいくつもあります。私は今までその道



『大きな夢を 追いかけて』

の途中で困難にぶつかったときは、いつも北高時代の走るのが楽しくて仕方なかった時のことを思い返します。あの時、仲間にも恵まれ、陸上競技の楽しさを教えてもらったから今の私があるのだと思います。これからも大きな夢を追いかけて頑張っていきたいと思っています。

CHECK!

陸上選手

久保倉里美
(北高五十一期)

●PROFILE●

- 1982年4月27日生まれ 25歳
- 旭川市立緑新小学校→旭川市立緑ヶ丘中学校
→北海道旭川北高校→福島大学
→(株)新潟アルビレックスランニングクラブ
- 2006年日本陸上競技選手権大会
400m 優勝
2006年ドーハアジア競技大会
400mH 3位
2007年出雲陸上競技会
300m 38秒12
日本最高・アジア新記録
2007年静岡国際陸上競技会
400mH 55秒71 日本新記録
2007年大阪グランプリ
4×400mリレー(3走) 3分30秒53
日本新記録
2007年日本陸上競技選手権大会
400mH 56秒09 優勝
2007年ヨルダンアジア競技大会
400mH 56秒74 優勝
- 『これからの大会出場予定』
8月25日～9月2日
世界選手権 大阪・長居競技場
9月30日
スーパー陸上 横浜・日産スタジアム
- (株)新潟アルビレックスランニングクラブを応援してくれる方は、ホームページ
<http://www.albirex-rc.com/>をご覧ください。
誰でも入会することができます。

CHECK!

カーリング選手

寺田 桜子

(北高五十三期)



●PROFILE●

- 1984年 釧路市生まれ
- 2000年 旭川北高入学
在学期間中、カーリングジュニア日本代表とし2001年世界ジュニアカーリング選手権に出場し4位入賞
- 2003年 青森公立大学入学
- 2004年 日本選手権優勝、以後ナショナルチームとして活動中
パシフィック選手権優勝
- 2006年 冬季トリノオリンピック出場
第7位入賞
日本選手権優勝
パシフィック選手権第3位
- 2007年 ユニバーシアード大会第3位
日本選手権優勝
世界選手権第8位

『カーリングを
通しての成長』

私が北高を卒業して、早くも四年が過ぎました。私と同じように大学に進学した同級生も春から新社会人として、活躍しています。私は、というとカーリングに専念するため大学二年の後期と三年の後期を休学し、丸一年の遅れをとり、残りの在学期間を満たすため五年目の大学生活を送っています。

青森に進学してからは、春から夏は学生生活に、秋から冬にかけてカーリングに専念する生活を過ごしてきました。もちろん、その瞬間瞬間は学生生活やカーリングに夢中になって充実した毎日を送っていました。ふとシーズンがひと段落したときに必ず思い出すのは、北海道の家族のことや、高校時代友達と過ごし

た懐かしい日々でした。私が今、こうして恵まれた環境で夢中になれることに専念できているのも、家族の温かい理解と支援があるからこそであり、悔しいことやめげそうな時も踏ん張れるのは、高校時代たくさん時間を一緒に過ごした友達が今でも応援してくれているからです。

大学三年の冬、念願だったオリンピックの出場のチャンスは、改めて私はたくさんの人に支えられてここまでやってきたことを感じ、選手として常に感謝の気持ちを持ち続けることを教えてくれました。それと同時に今までただ楽しく続けていたカーリングから、日本代表としての責任と意識を再認識する機会となりました。

そんなかけがえのない経験を経て迎えた二〇〇六―二〇〇七シーズンは私たちの挑戦の一年でした。メンバーがオリンピック出場チームから一転したことや、

個人的にはチームリーダーとして初めてチームをまとめる立場になりました。昨シーズンの主な戦績はユニバーシアードでの三位入賞、日本選手権優勝さらに世界選手権八位入賞です。結果にはもちろん満足してはいませんが、新体制となつてスタートの一年として価値のあるシーズンが過ごせたと思っています。

今、最高のチームメイトに恵まれて、明確な目標を持って毎日を過ごせることを光榮に思います。このようなチャンスを与えてくれたたくさんの方々から感謝します。



週末は休むべきものと思える様になったのは、ここ数年前からである。小さい頃、ピアノの先生に、一日でも練習を怠けると、演奏家にはなれないんだ!!と、繰り返し言われていたせいか、私には休日がなかった。逆に練習が出来なかった日は、精神的なものからか、腕が痛くもなった。私の高校時代は週末は札幌へレッスンに通っていたし、その他、音楽、聴音などもあり、自由な時間は全くと言っていいほどなかった。遠足や、体育祭等の行事は、休むのが当たり前で、コンクールに向けてのピアノの練習日になっていた。私の学生時代は、朝早くに起き

て、学校の宿題をし、その後、ピアノの練習をしてから、学校に行くという日々だった。そして、私は高校卒業後、すぐにオーストリアに来た。ここでの最初の二年間は、苦勞の連続で、私の人生の中で最も辛い時期だった。その頃は、自分の為だけに生きていたような感じだったが、それが変わったのは、八十八年に娘を産んだからだった。当時、私は、他人の助けを借りたくなかったし、子供に日本語を教えられるのは自分だけだと思い、また、主人以外にも沢山の人がドイツ語を話す中では、日本語を覚えることは出来ないだろうと思ったので、一人で必死だった。だから当時は、もう、この先ピアノを人前で弾く事は不可能だろうと思いつながら、子育てをしていた。続いて九十一年に息子が産まれ、そんな中、自分が今まで積

み上げてきたものが、日に日に崩れていくのを感じていた。だから、時間をみつめては少しずつピアノの練習をしてはいたけれど、それはただの気休めにしかならなかった。ところが、その四年後(九十五年)に旭川で北川由美先生と演奏会をする事ができた時、私は生き返ったと感じた。小さい子供が二人いての練習は、とても大変だったが、あの演奏会当日は、人生の中で一番嬉しく、一番満足できた日だったと言える。

おそらく、高校時代は、ピアノばかり弾いている純粋な少女だと、周りにそう見られていた?のではないかと勝手に思っているが、最近では随分、怪しげらしい。閑空で飛行機を待っているだけで、警備官に、何をしてる?と尋問されたり、税関では、手に抱えていた和傘が機関銃に見えたのか、引き止められたこともあ

『国外追放された、 純粋ピアノ少女は 今・・・』

て、学校の宿題をし、その後、ピアノの練習をしてから、学校に行くという日々だった。

み上げてきたものが、日に日に崩れていくのを感じていた。だから、時間をみつめては少しずつピアノの練習をしてはいたけれど、それはただの気休めにしかならなかった。ところが、その四年後(九十五年)に旭川で北川由美先生と演奏会をする事ができた時、私は生き返ったと感じた。小さい子供が二人いての練習は、とても大変だったが、あの演奏会当日は、人生の中で一番嬉しく、一番満足できた日だったと言える。

った。日本人観光客と日本語で話しているのにも拘らず、日本人ですかと質問されることもある。純粋だったあのピアノ少女は、得体の知れない、怪しげな人物に変わってしまったのである。今は、ウェブサイトの翻訳、観光関係で通訳や雑誌の取材の手伝い等、誰かの為に来る事はするように努力をしている。将来は、オーストリア人の友達が、ここに日本旅館を建てて、私は女将になっているかもしれないし、秋に宮本恒靖がこのサツカーチームのレギュラーになって、私が専属通訳をしているかもしれない。学生時代はピアノ一色だった私だが、いつか、ピアノが弾けなくなる時が来るとしても、私の人生が終わるわけではなく、今は思える。



CHECK!

ピアニスト

小野寺治子

(北高三十一期)

●PROFILE●

- 北高在学中 北海道シヨパン学生ピアノコンクール特別奨励賞受賞。
札幌交響楽団と共演。
- 1981年 卒業後、オーストリア ザルツブルグの国立音楽院モーツアルテウム演奏科コースに入学。主任教授ベーター・ラングに師事。在学中、オーストリア政府より、1年間奨学金を授与される。
- 1987年 終了試験合格。
- 1995、1996年 旭川にて、1998年ザルツブルグにて北川由美さんとジョイントリサイタルを行う。
- 2005年 東京と旭川にて、2006年ザルツブルグにて北川由美さんとジョイントリサイタルを行う。
- 2006年 モーツアルト生誕250年の年に生誕地でモーツアルトの楽曲をオーケストラと共演。
- 2007年 旭川にて北川由美さんとジョイントリサイタル。

(尚、北川さんは桐蔭学園大学音楽部演奏学科卒業後、外国の演奏家とも共演するなど、現在東京で活躍中。)



CHECK!

イラストレーター

梅津 真由美

(北高三十一期)



●PROFILE●

- イラストレーター
- 絵描き
- 歯科衛生士でもある
- 愛別町在住
- 東京四谷舟町 セツ・モードセミナー卒業
- ブログ『Tiny Happiness』
<http://umetsu.jugem.jp/>
- 『愛別町(アイベット)スケッチ』ペリ館ホームページ内
<http://www.pelican-inc.co.jp/pelican-site.html>



「北海道の真冬の太陽は白く大きい。陽の光はまぶしく、風景は白い雪に反射してよりいっそうまぶしい。でもそのまぶしさは暖かくやわらかく、長く寒い冬を過ごすわたしたちをつつんでいる。」

『昔々今の北高生に
愛を込めて』

年齢四十を過ぎてはじめてあの頃に戻りたいと思うようになりました。ただただ毎日眠くて眠くて勉強もろくにせず、遊びもせずおしゃれも恋もせず、コミュニケーションをとることがよくわからない、いつも何か悩んでいて暗くただ自分の足下をみていただけ、大人の欺瞞には敏感で、反抗することすらわからなかったあの三年間。あまり記憶がありません。いまの分別とずうずうしさを持って戻って生き直したい、高校生や学園ドラマをみるとそう思うようになりました。「マイ・ボス・マイ・ヒーロー」をみて泣いたと顔見知りの十五才少年に話す。「えっ、どのシーンで泣いたんですか?」と不思議がられ笑われました。きつと十代を燃焼して生きているその少年には不完全

燃焼の青春を送ったものの後悔というものが理解できない、未来に彼はわたしとはまったく違う感慨を持って彼自身の十代を振り返るのでしよう。同級生たちはどんなことを感じ考えながら十五から十八才を生き、そしていま何をどう感じているのかな。若くして逝った友人たちを思うといまになってより深い悲しみを感じます。これが年をとったということなのでしょう。

絵の描くことが好きだったわたしは高校二年のときに嫌いになり筆を折りました。札幌の専門学校を卒業し歯科衛生士として旭川で働きましたが挫折し、イラストレーターになれる可能性があるのなら模索したいと上京しました。日比谷の歯科医院で教えられ育てられ、その後「セツ・モードセミナー」で「アートは自由なんだ」というかっこいいじいちゃんだった長沢節さんのもと、フリーターしながら水彩画とフアッシュョン画を学びまし

た。東京はいろいろなところから夢や野心をもつてひとが集まってきている場所。競争も嫉妬も怖いこともうさくさいこともある、でもけつして冷たくはなかった。苦勞も挫折も知っている人生の先輩たちはあとに続くものたちを厳しく意見し見守り引っぱりあげてくれました。いろいろ縁に恵まれイラストレーターになれました。楽な道ではなかった!からだを壊して数年前帰郷しました。仕事をとりまく状況は厳しく制作は苦しいですが、しあわせです。自然のなかで暮らし、描く絵も変わってきています。

そんな折、ボスタアの絵を描くようお達しがありました。北高の生徒たち、それぞれ胸に秘めた想いはあつたはず。シルエットは違えども変わらないあの制服を着ている昔の北高生も今の北高生もいとおしい、そんな思いを込めて描きました。詳細はブログに掲載しています。描く機会を与えてくださりありがとうございます。

います。

しかるべき年齢に反抗期がなかったわたしは北海道に住んでからどんどんパンキッシュになってます。ひとを育てることが苦手な土壌があるのかな、そんな思いを抱いて旭川をみています。次の世代のためになにかできることはないのかなと模索しはじめました。

そんなパンクな同窓生からお願いがひとつ。世の中はますます厳しくなりまして。同窓会にかかる費用、労力の負担は大きいですが、わたしのほうにそういった声も届いています。どうか会費だけでまかなえる身の丈にあつた同窓会運営を考えていただきたいとお願ひ申し上げます。年を重ねれば重ねるほど大切な時間と思えるこの同窓会がこれからもゆつたりと続いていきますよう、北高の発展とともに願っております。

あの卒業生は今!?

売れない漫画家、新子友子もはや十五年。今も細々と雑誌に描かせてもらっています。

高校時代はろくに学校も行かず、全然勉強もせず、夏休みには補習を受け、なんとか卒業出来たものの、紹介された就職口は全部落ち、新聞の求人欄を見て自分で見つけた会社に入ったのが私の人生を決定付けました。パブルへと進んでいたあのころは広告業界は花盛りで二十五歳の時フリーになった私はまさに、青春(?)まったただ中でした。妹を雇い「でも、ほんとは漫画家

なりと苦労せずにデビュー出来たもの、プロになってからは、自由に描かせてもらえるわけはなく、ポツや直しの連続で、あのころが一番「耐えた」時期でした。連載漫画をもらえるまでの苦しさをいやは、今はもう忘れませんでした。

三十六歳で初めて子供を授かりました。十六年(一応)すっていたタバコをやめ、三十九、四十一、と連続高齢出産。疲れしました。でも、多分お孫さんがいる方もいようかというこの年で、

『やってみたもん勝ち』

「なってみたらよかったよね」と、子供の頃を思い出し、そして山のような仕事の合間を縫って投稿生活が始まったのです。

わりと苦労せずにデビュー出来たもの、プロになってからは、自由に描かせてもらえるわけはなく、ポツや直しの連続で、あのころが一番「耐えた」時期でした。連載漫画をもらえるまでの苦しさをいやは、今はもう忘れませんでした。

小さい子供と過ごす毎日はとても面白く夢があります。

自分が経験したいろんなことがこれからの自分や娘達の糧となって生きてくるといいなと思っています。

まよわないでなんでもやってみて、失敗したらやり直せばいいだけ。真剣さなんて高校生の時はめんどうかいと思っていたけど、努力、忍耐、根性、の後の達成感はいかへつななんですよね。



十年続いた連載漫画『Lonリーウルフ』

CHECK!

漫画家

矢三 新子
(北高三十二期)



●PROFILE●

- 北高卒業後すぐに(株)中央オフセット印刷に就職
- デザイン室にて広告のデザイン、版下制作の仕事につく
- 2~3の会社を経て1988年に独立「ヤソウ版下デザイン」を立ち上げる
- 1990年に妹と合作で漫画の投稿を始める1年後角川書店「月刊あすか」でデビューペンネームは2人の名前をくっつけて、新子友子
連載漫画「ロンリーウルフ」は10年つづいた
- 1997年ヤソウ版下デザインをたたむ
- 今は漫画のみを描いている
- 9歳、6歳、3歳の娘の子育て中



- ★魔法屋そるしゅ! (学研/まちが絵パズル)
- ★ふくふくおかめ
- ★皇帝ペンギンえんべくん (あおば出版/月間ハムスベ)
- ★コロンのネコ知識 (あおば出版/ねこだま)

遠隔キャリア教育!!

『北海道テレコム 懇談会長賞に輝く』

平成十九年六月一日「電波の日・情報通信月間」記念式典において札幌市の口イトン札幌で授賞式が行われ、北海道テレコム懇談会長から牧野篤校長先生と生徒会長の櫻庭真彩さんが表彰状を受け取りました。遠隔授業の「キャリア教育」を実施するにあたり、先進的な技術をいち早く導入し、東京と旭川間で遠隔授業を行い、今後の遠隔授業の普及に寄与するなど教育分野における先進的なICT利活用の促進に多大な貢献をした、というのが受賞理由です。

これは平成十八年十月二十四日旭川北高の一・二年生四八〇名を対象に実施した『通信回線を利用した遠隔キャリア教育』が評価されたもので、東京会場の同窓生代表三氏と旭川会場の北校生徒を通信回線で結び、自らの経験やアドバイスを同時中継によりやり取りするという事業で北海道新聞にも取り上げられました。

通信関連で永く活躍されてきた岡井元氏（北高十一期）の発案で、西館同窓会長の熱意で様々な難題を克服し、旭川ケーブルテレビ、東京のインターネット接続サービス会社I-I-Jや多くの同窓生及び関係企業から協力を得ることにより現実化したものです。体育館の二〇〇インチの大画面を用い三氏それぞれから二十分程度のお話した後、旭川会場の生徒からの質問に対し先輩の立場として現役生へアドバイスするという高校では全国初の企画でしたが、同窓会と学校が一体となり生徒たちとのつながりを持つという貴重な機会を実現することができました。

同窓会としては二万四千人を越える同窓生のさまざまな経験を後輩たちに伝えるべく、今後も積極的にキャリア教育に関わっていく予定です。



司会 山形氏



木村氏、河原氏、岡井氏

*Career
education!*

PHOTO ALBUM



通信回線を利用した



▲北海道テレコム懇談会長賞表彰状

通信回線を利用した遠隔キャリア教育

- 総合司会 山形 積治 氏 (北高8期) 北海道教育大学名誉教授
- 東京会場出演者
 - 公務員界 岡井 元 氏 (北高11期)
宇宙通信株式会社 常任顧問
 - 実業界 河原 惟臣 氏 (北高10期)
地崎道路株式会社 専務 (旭川北高東京同窓会会長)
 - 教育界 木村 崇 氏 (北高13期)
京都大学大学院総合人間学部教授

旭川北高東京同窓会の皆様

いつも、旭川高校のことを考えてくださり、ありがとうございます。
昨年の10月に行われた「通信回線を利用した遠隔キャリア教育」では、幅広い分野で活躍されている皆様のお話を聞かざるを得ず、将来に対する不安を解消することができました。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございます。皆様方のように、未来を明るく、充実したものにできるよう、今できることを精一杯頑張りたいです。

私たち生徒にとって、未来への大きな一歩を踏み出すきっかけとなった遠隔キャリア教育ですが、先日の6月1日に開かれた「電波の日・情報通信月刊記念式典」にて、北海道テレコム懇談会会長賞という、素晴らしい賞をいただくことができました。

同窓会の皆様と私たち、いわば世代をこえた北高生の協力によって成り立、たものが誰かに認められたということは、幸によることばしいことです。これをきっかけに、旭川高校の素晴らしさが、もっと大勢の方々に広まればいいな、と思います。

同窓会の皆様ののおかげで、未来へ向けての進めるとなる遠隔キャリア教育を受けることができ、更に素晴らしい賞までいただくことができました。全校生徒を代表して、心よりお礼申し上げます。ありがとうございます。

平成19年6月6日 北海道旭川北高等学校生徒会長 櫻庭 真彩

『キャリア教育とは？』

今日、少子高齢社会の到来や産業・経済の構造的変化、雇用形態の多様化・流動化などを背景として、将来への不透明さが増幅するとともに、就職・進学を問わず、進路を巡る環境は大きく変化しており、フリーターやいわゆる「ニート」が大きな社会問題となっています。このような状況の中、子どもたちが「生きる力」を身に付け、明確な目的意識を持って日々の学業生活に取り組む姿勢、激しい社会の変化に対応し、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力やしっかりとした勤労観、職業観を身に付け、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくことができるようになるキャリア教育の推進が強く求められています。

キャリア教育とは、「キャリア概念」に基づいて、「児童生徒一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な意欲・態度や能力を育てる教育」。端的には、「児童生徒一人一人の勤労観、職業観を育てる教育」です。

▲生徒会長から、同窓会の皆さんへの手紙



表彰状を受けとる生徒会長

式典会場

生徒からの質問

西館会長挨拶



同窓生から

人佳 巧紀
勝美 亜
川原 藤野
大吉 佐永
北高18期生
北高31期生
北高31期生
北高40期生

地域に根ざして



北高十八期
大川 勝人

三十数年前、北高に入学。第一印象はポロポロ木造校舎と体育館。おおく思い切りレトロではないか。入学して、ここで三年間過ごすことに戸惑いを感じたのを覚えています。冬將軍の時期を想像するだけで、気持ちが萎えました。その当時の旭川の冬は、気温はマイナス三十度はさらにある時代。教室の窓枠を見れば建てつけは悪くすぎ間だらけ、体育館はすぎ間から雪が入り積もっている事も度々でした。その中での授業、とくに冬の体育館でおこなう剣道・柔道は地獄でしたね。暖房は石炭ストーブ、燃料は石油のオイル缶に一杯だけ配給です。午後には

石炭がなくなると担任の許可を貰い用務員さんに貰いに行くそんな中での学校生活でした。

北高時代は勉強をしなかったが、友人の大切さと人間関係の大切さを学びました。社会にでて二十七歳で東京から戻り、メガネ店を大町で開業したのも、この地域が好きだからです。旭橋から護国神社・石狩川・そして住んでる人が好きだから開業地はみずほを選びました。みずほ通商店街振興組合の理事長として、北星市民委員会の方や北海道教育大・北都商業高等学校・旭川商業高等学校と協力しながら地域コミュニティの再生を目指しています。

こんな考え方をするようになったのも北高時代の人間関係の大切さを学んだ下地があったからかもしれません。みずほ通商店街振興組合では、地域貢献の一環として、特に子どもたちと地域との交流事業には力をいれています。

今までこの地域が培ってきた地域関係資本を活かしながら、年間十回ほどの子ども交流事業をおこなっています。少しご紹介すると

☆国土交通省のボランティア・サポート・プログラム事業：国道四十号線の花と

道路管理（北都商業高等学校）

☆お寺でお泊まり会（北海道教育大学・

大町小学校・大有小学校・北星市民委員会）

☆子どもたちと北星七夕まつりの企画運営（北都商業高等学校・旭川商業高等学校・北星市民委員会）

☆親子でローソクダーセ（北都商業高等学校・北星市民委員会）

☆親子でサイクリング（北海道教育大学・北星市民委員会）

☆雪あかり（北海道教育大学）

☆冬休み宿題のお手伝い「書初め大会」（北海道教育大学・北星市民委員会）

☆旭川商業高等学校のインターシップ受け入れ

☆北都商業高等学校のインターシップ受け入れ

☆親子でかまくらづくり（北海道教育大学・北星市民委員会）

私も五十七歳、還暦をもう少しですが、私には定年は一生こないでしょう。

これからは私の集大成、商売と地域活動の中で年を上手に取って行きたいと思っています。

これからの人生は楽しくなりそうです。四十二回実行委員会の皆さん、書く機会を頂きありがとうございます。感謝！

私が入学した昭和五十三年、真新しい校舎の傍らに木造の古い校舎が並んで建てていました。工事的続く新校舎の最上階に自分たちの教室がありました。他クラスとの合同授業などで旧校舎を使用することもありました。廊下から眺めた中庭の木々、隙間だらけの窓、床の軋む音、階段の手すりの傷と木の温もり。多くの先輩方が築いた歴史と伝統、たくさんの思い出が刻まれた古い校舎の趣ある佇まいは、学び舎という言葉がまさにぴったりでした。入学した頃の頃、昼休みに体育館に集められ怖さで震え上がった応援歌の練習と同じく北高にまだ残っていたバンカラ気質の象徴でもあったと、今とても懐かしく思います。

またその一角には、まるで物置小屋のような山岳部の部室もありました。土曜の授業が終わると急いで着替え、重いリュックを背負い鄙びた駅まで国鉄で移動、下車して歩くこと更に数キロ。高体連の前は筆記試験に備えて天気図と睨めっこ。精神的にも鍛えられ、山の頂からの眺めや夏山の雪渓、狭いテントにさえ日常とかけ離れた未知の世界が広がり、他では得られない貴重な経験ができました。

美術部にアーチェリー同好会、喫茶店

懐かしい二つの学び舎



北高三十一期
吉原 美佳
(旧姓 谷川)

私が入学した昭和五十三年、真新しい校舎の傍らに木造の古い校舎が並んで建てていました。工事的続く新校舎の最上階に自分たちの教室がありました。他クラスとの合同授業などで旧校舎を使用することもありました。廊下から眺めた中庭の木々、隙間だらけの窓、床の軋む音、階段の手すりの傷と木の温もり。多くの先輩方が築いた歴史と伝統、たくさんの思い出が刻まれた古い校舎の趣ある佇まいは、学び舎という言葉がまさにぴったりでした。入学した頃の頃、昼休みに体育館に集められ怖さで震え上がった応援歌の練習と同じく北高にまだ残っていたバンカラ気質の象徴でもあったと、今とても懐かしく思います。

でのお喋りや映画館、アルバイト、旅行などクラスメートとの思い出が尽きない三年間。球技大会でユニフォームを揃え一致団結、学校祭の後は場所を変えて打ち上げ。个性的でユニーク、そして明るい仲間とは進学のために上京した後、社会人になってからも機会があればよく集まり、親交を深めて参りました。

何より、北高独特の自由闊達な校風、個性を尊重しのびのびと愉しむ精神が仲間との絆をより強いものにしてくれた気がします。

恩師や仲間との再会が楽しみな同窓会ですが、個人的には、旧校舎で私より遙かに自由を謳歌したであろう北高六期生の父と一緒に出席できることを特に幸せに感じています。



北高三十一期
佐藤 巧

花火十君の椅子II居場所

愛別町では赤ちゃんが生まれたという届けを役場に出すと、有志の人たちがお昼十二時ちようどに花火をあげてくれます (<http://umetsujugem.jp>、梅津真由美、Tiny Happiness ブログより)。

私はこのブログを読んで、『君の椅子』プロジェクトを連想しました。

旭川大学大学院、磯田ゼミで、元副知事の磯田先生が、「愛別町では赤ちゃんが

生まれると、花火をあげる」話をしました。「誕生する子どもを迎える喜びを、地域の人々で分かち合いたい」、「君の椅子」プロジェクトは、旭川大学大学院ゼミのそんな会話からはじまりました。

私は当時(二〇〇五年)ゼミ生でした。この企画は、地域の人々が生まれてくる子ども達に地域に集積されてきた技術と道産の木材によって創られた椅子を贈るプロジェクトです。椅子を贈ることを通じて、君の居場所はここにあるよというメッセージを送り、地域で子どもの成長を温かく見守るとともに、世界に誇る旭川家具を内外に発信したい、そんな願いを込めて構想しました。

(<http://www.2asahikawa-u.ac.jp/daigakuin/kinnohisuhin/> 旭川大学ホームページ参照)

『君の椅子』のデザインは、暦年毎に変わります。初年度(二〇〇六年)は、建築家・家具デザイナーの中村好文氏(東京都在住)でした。

私は、現在、旭川大学院に再入学し、税理士受験一部科目免除のための「税法」論文を作成中ですが、一方で、『君の椅子』プロジェクトにゼミ生として関わりを持つたということに、喜びを感じています。さらに、きっかけとなった花火(愛別町)の話を、同期生のイラストレーターである梅津さんのブログでみつけたことに、不思議な縁を感じました。

これから日本は少子高齢が進み、人口が減少します。時代は変わっても、北高を卒業したという事実はかわりません。何年前かに北高で、教育実習をさせて頂

き、その後、専修免許を取得しましたが、いつどこで誰のお世話になるかわかりません。北高同窓という縁を大事にしたいと思います。

「縁」



北高四十一期
永野 亜紀
(旧姓 大館)

先日いつものように実家に里帰りした時、年上の義弟が何やら数冊の冊子を持ってきた。『旭川北高等学校同窓会』。

「そういえば岡本さん北高だったよね。当番期?へえ、そんなのあるんだ。え

っ!私を書くのー!!」という縁で書かせていただいております。いただいた過去の同窓会誌をバラバラとめくっていると、北高で過ごした三年間がくつきり

とよみがえってきた。あまりにも未熟な自分の姿に懐かしさ以上に恥ずかしさでいっぱいになる。アーチエリー部に所属していた私は「勉強しなくてもアーチエリーで進学すればいい。」などと本気で思っていた。ところが国体最終予選で敗退。これからどうしようと思ったとき、偶然見たテレビ番組で自転車に乗っておじいちゃんの血圧を測りに行く保健婦の姿。

深い理由はないけれどただ「やってみよう」と思った。念願叶って訪問看護を受け入れて下さった方々に年々感謝の気持ち

ちが深くなる。御礼奉公も終わり旭川に帰ろうという年、まるで人生に組み込まれていたかのように夫に出会い佐呂間町民になった。そして、二人の子どもたちに出会うという奇跡的な経験。どんな縁があつて自分の所へ来てくれたのか不思議な気持ちになる。

そして、今私は高齢者の看護・介護の仕事をしていただいている。中でも認知症という病気をもった方たちに接することで、生きるということ、死ぬということ、権利とは、自由とはを考える機会をもらおう。認知症の年寄りほとんど本能の部分で鋭敏化していく。目の前の人間が信用できるかできないか、本能で判断する。気持ちの入っていない対応は絶対に見抜かれる。食べ物を食べ物だと認知できない状況になっても口に入れて差し上げたものを咀嚼し嚥下する。その生き抜こうとする生命力に日々圧倒されている。

すべての人との出会いとすべての出来事が「縁」という数珠繋ぎで設定され、自分で選んでいるようで、その道を選ばれているような…。何だか北高時代の仲間にとつても会いたくなってきた。日々仕事と育児に追われている自分に、じっくりと自分を振り返る機会を下さった北高同窓会に感謝いたします。

進路指導部 (全日制)

進路指導部
中村 康 広

平成十八年度、初めての六間口卒業生の進路状況について。卒業生二四一名のうち進学希望者が二三二名。そのうち一九二名が国立公立大学志望で、北大希望者も三年の四月の調査で四二名となっております。その受験結果は表の通りです。

しかし、なんと言っても現役国立合格者数が、一〇八名となったのは、うれしいことです。北高が八間口あった時の最高数一一一にあと三人にまで迫ったのは特筆すべきです。また、北大も二三(二五)と伸びました。

その他の国立公立大学の主な合格数(現役数)は、道教育大二六(二八)・小樽商大八(八)・室工大二(二)・旭川医大一〇(一)

○・釧路公立大三(二)・はこだて未来大四(四)・東北大一(二)・弘前大七(七)・埼玉大三(三)・新潟大二(二)・新設の札幌市立大六(六)、名寄市立大三(二)。
私立大学の主な合格数(現役数)は、北星学園大二四(二三)・北海学園大二〇(一九)・道医療大二(二)・道薬科大六(六)・中央大一三(八)・獨協大四(三)・法政大二(二)・明治大三(二)。
かなり受験先に変化が見られる点が本校の変化を表しています。
短大への進学数は年々減少し、今年は十一名でした。

また、看護系進学数も四年生大学がほとんどです。

また、北高生の実力は出し切っていないと思われず。単位制も導入しました。生徒たちの進路目標を実現できるように、全校あげて取り組んでいるところです。
同窓会の皆様の力強いお力添えを今年度も、宜しくお願い申し上げます。

【私立大現役合格者数】

大学名	H15	H16	H17	H18
北星学園大	28	20	20	23
北海学園大	43	44	19	19
札幌大	18	9	8	3
札幌学院大	12	7	13	0
札幌国際大	1	2	2	0
天使大	5	3	6	5
道医療大	6	6	15	11
道薬科大	1	3	7	6
藤女子大	10	11	4	2
道東海大	1	2	1	2
道農学園大	5	3	2	1
浅井学園大	3	3	1	0
千歳科大	1	1	2	0
日赤看護大	4	6	0	0
獨協大	2	1	3	1
青山学院大		1	3	0
学習院大		2	2	0
慶応大				0
中央大	3		1	8
東洋大	2	1	2	1
法政大			8	2
明治大	1	3	3	2
立教大		1		1
早稲田大	1	1		0
同志社大	3	2	6	1
立命館大	2	2	4	0
その他	37	53	43	23
私立大合計	189	185	175	122

【国立公立大現役合格者数】

大学名	H15	H16	H17	H18
北海道大	7	10	10	15
北教大	29	33	19	18
室工大	4	7	2	1
小樽商大	10	7	7	8
帯広畜産大		1	1	4
旭川医大	7	6	5	10
北見工大	1	2	4	0
弘前大	11	10	5	7
北岩手大		2	1	1
東北大		1	2	1
山形大	4		4	1
福島大		1		0
仙台大	3		1	0
筑波大	1		1	1
宇都宮大			1	1
埼玉大	1			3
千葉大				0
電気通信大		1		0
東京学芸大				1
新潟大	2	2	1	2
富山大		1		0
金沢大		2	1	2
信州大				2
静岡大	2			0
札幌医大			1	2
釧路公立大		2	3	2
函館未来大	6	5	6	4
札幌市立大			4	6
名寄市立大			6	2
横浜市立大				0
高崎経済大	1	1	2	3
国際教養大	1			1
大阪市立大				1
その他	8	1	8	9
国立公立大計	98	96	97	108

【公務員・民間就職合格者数】

種類	H15	H16	H17	H18
国家公務員	3	1	3	2
道職	3	1	2	1
市町村職員	2	0	0	2
他の公務員	1	2	0	0
民間就職	2	3	4	5

平成18年度 卒業生の進路 19年3月卒業生

進路別人数

区分	科	普通科		英語科		合計			前年		
		男	女	男	女	男	女	計			
卒業者数		96	105	9	31	105	136	241	275		
進学希望者数		94	101	7	30	101	131	232	264		
進学者数		69	89	4	29	73	118	191	222		
進 学 先 内 訳	大 学	国立	道内	30	34	2	5	32	39	71	64
			道外	17	13	1	4	18	17	35	28
		私立	道内	9	13	1	4	10	17	27	42
			道外	8	11	0	5	8	16	24	36
	短 大	国立	道内	0	2	0	0	0	2	2	0
			道外	0	0	0	1	0	1	1	1
		私立	道内	0	6	0	1	0	7	7	12
			道外	0	0	0	1	0	1	1	0
	大 学 校 等	大 学 校 等		1	0	0	0	1	0	1	2
		専 門 学 校	看 護	道内	2	5	0	0	2	5	7
道外				0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他			道内	1	4	0	5	1	9	10	25
	道外		1	1	0	3	1	4	5	5	
就 職	公 務 員		0	3	2	0	2	3	5	5	
	民 間		0	0	0	0	0	0	0	6	
自 営 : 家 事 手 伝		0	0	0	1	0	1	1	0		
その他(進路先未定を含む)		27	13	3	1	30	14	44	42		

推薦・AO入試受験の結果

合 否	進 路		
○	指 定 校 推 薦	中央大学（商・商業貿易）	
○		同志社大学（法・法律）	
○		北海道薬科大学（薬・薬）	
○		北海道薬科大学（薬・薬）	
○		北星学園大学（社会福祉・福祉計画）	
○		北星学園大学（文・心理応用）	
○		明治大学（政治経済・経済）	
○		獨協大学（国際教養・言語文化）	
○		北海道武蔵女子短期大学（英文）	
○		北星学園大学短期大学部（生活創造）	
○		札幌ビューティーアート専門学校（トータルビューティー）	
○		一 般 推 薦	札幌市立大学（看護）
×			秋田大学（教育文化・国際言語）
○	小樽商科大学（商）		
○	帯広畜産大学（畜産・畜産科学）		
×	北海道教育大学旭川校（教育発達）		
×	北海道教育大学旭川校（生活・技術）		
○	関西外国語大学（国際言語・コミュニケーション）		
○	関西外国語大学短大部（英米語）		
○	日本体育大学（体育・体育）		
○	市立名寄短期大学（児童）		
×	市立名寄短期大学（児童）		
○	経専音楽放送芸術専門学校		
○	経専音楽放送芸術専門学校		
○	光塩学園調理製菓専門学校		
○	札幌歯科学院専門学校		
○	A O 入 試		旭川医科大学（医・看護）
○			北海道薬科大学（薬・薬）
○		多摩美術大学（造形表現・映像演劇）	



07' 部活動報告

●野球部

昨夏は二年ぶりの北大会出場を果たすことができました。二年ぶりの甲子園出場を目指しましたが、善戦及ばず二回戦で敗れてしまいました。甲子園はいかに遠いところかを思い知らされました。昨秋の新チームは経験の浅いところがで、一回戦で敗退と結果が出ず、悔しさを今年に持ち込むことになりました。

現在は、高校球児の憧れである甲子園への第一歩である夏の支部大会に向けて、昨秋と今春の悔しさを晴らすべく、選手一同必死に努力している最中です。甲子園出場などということはそう簡単に果たせるものではありませんが、少しでも夢舞台に近づけることが出来るように精一杯頑張っていると思っております。

これからもより一層のご声援をよろしく願います。

旭川支部春季大会結果

2回戦 旭川南 1-8 (8回)

●ソフトテニス部

現在のソフトテニス部の活動について報告します。例年と変わらず女子のみで、三

年生が五名、二年生が四名、そして一年生が六名で活動しています。高体連は三年生の最後の大会ということで、みんな一生懸命にがんばったのですが、予選リーグ敗退という結果に終わってしまいました。

大きな差があったわけではありません。でもほんの少しの差が勝負を分けるということを学んだように思います。今後ともがんばりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

高体連地区予選
旭川北 1-2 富良野緑峰
旭川北 1-2 旭川西

●硬式テニス部

テニス部は、ここ数年部員数がとても多い部活です。今年も男女合わせて五十人以上の部員がいます。そのため、いろいろな意見や考え方があり、技術の差もあります。もちろん意見の食い違いなども起きます。しかし、みんな高い目標を持ち、日々切磋琢磨しあつて、とても良い信頼関係を作れています。

これからも、よりよい信頼関係を作り、その中でお互いに高め合えるように団結し

て頑張っていきたいと思えます。

高体連地区予選
男子団体 2回戦敗退
女子団体 2回戦敗退
女子個人シングルス

土野由依子 第3位
(全道大会 ベスト16)

●男子バレーボール部

男子バレー部は三年生が五名、二年生が四名、一年生が三名、マネージャー一名の計十三名で毎日練習に励んでいます。

新チームになり三年生が引退すると部員が少ないため、日々団結力を高めようと頑張っています。

これからも全国大会出場を目標に掲げ努力していきたいと思えます。
【大会結果】
バレー祭

1回戦 旭川北 0-2 旭川実業
旭川支部春季大会

1回戦 旭川北 2-1 富良野
2回戦 旭川北 0-2 旭川西
高体連旭川支部予選会

予選グループ戦
旭川北 0-2 旭川凌雲
旭川北 2-0 富良野緑峰
決勝トーナメント

旭川北 0-2 旭川龍谷

●女子バレーボール部

一年生十名、二年生二名、三年生四名、マネージャー二名の計十八名で毎日元気に

活動しています。今年は一年生が十名も入部して、活気がでています。

高校から始めた選手もいますが、皆おもしろいやりをもって、チームワークの良さを發揮しています。

今年のチームは例年になく攻撃的なチームになりました。高体連では、臆することなく伸び伸びと十分に実力を発揮することができました。

高体連予選

旭川北 2-1 羽幌
高体連決勝トーナメント

旭川北 0-2 旭大高

●サッカー部

三年生が引退し、現在選手二十五人、マネージャー五人で活動しています。

新チームになったばかりでチームとしてはまだまだですが、大会に向けて部員全員が協力し練習しています。

今年の目標は去年と同じく全道大会に出場することです。高体連では東高にあと一歩及ばず負けてしまい全道出場という夢は叶いませんでした。その思いを受け継ぎ次の大会に活かそうと思えます。

北高サッカー部は一人一人の実力では全道へいくのは可能なはずですが、その力をチームで活かすためにも毎日ひたむきに協力し合って努力していきたいと思えます。

高体連

旭川北 2-1 旭川明成
旭川北 0-1 旭川東

●卓球部

高体連旭川支部大会では、団体戦は敗れましたが、女子ダブルスで、斉藤・桑谷組と松下・濱村組がともに三位となり、斉藤・桑谷組が全道大会に出場しました。新チームは青山部長を中心に、団体戦で男・女そろって全道出場を目標に毎日の練習に取り組んでいます。

●バドミントン部

バドミントン部は新チーム(一・二年生)男子八名、女子十名、計十八名で活動しています。

新チームになって日はまだ浅いのですが、部員はお互いに声をかけ合いながら、切磋琢磨し、日々練習に励んでいます。

今年の国体北海道予選では少年女子複で第四位入賞、インターハイ北海道予選会では、女子団体で北海道準優勝を果たすことができました。しかし、目標としていたインターハイの出場権を獲得することができませんでした。

そのくやしい思いを乗り越え、今後は精神面、体力面、技術面を今以上に向上させ、新チームの目標である全国高等学校選抜大会(新人戦)、そして来年のインターハイに男女共に出場することを目指して、日々努力していきたいと思えます。

【おもな大会結果】

高体連支部大会および各種全道大会

◇北海道高等学校新人大会

平成19年1月13日～14日 旭川市

男子団体 北北海道

第3位

女子団体 北北海道

男子複 松原・植西

準優勝

男子単 植西

ベスト8

女子複 松原

2回戦敗退

女子単 佐々木あ・後藤

1回戦敗退

男子複 佐野・佐々木梨

第3位

女子単 佐々木あ

2回戦敗退

後藤

ベスト8

佐野

2回戦敗退

国民体育大会北海道予選会

2回戦敗退

平成19年5月11日～13日 北見市

男子複 松原・植西

3回戦敗退

女子複 佐々木あ・後藤

第4位

佐野・佐々木梨

2回戦敗退

◇高体連旭川支部大会

留萌市

平成19年5月29日～31日

男子団体 第3位

女子団体 準優勝

男子複 松原・植西

第3位

女子複 浅野・山崎

3回戦敗退

男子単 佐々木あ・後藤

ベスト8

女子単 植西

ベスト8

男子単 松原

3回戦敗退

女子単 佐々木

第3位

後藤

3回戦敗退

◇第59回北海道高等学校選手権大会

岩見沢市

平成19年6月12日～15日

女子団体 北北海道

準優勝

男子複 松原・植西

ベスト8

女子単 佐々木

ベスト8

●ソフトボール部

今年も一年生が十四人入部し、部活動も活気に満ちています。また、全道大会の当番校で念願のとの森三愛高校とも対戦でき、さらにやる気になりました。夏休みでは合宿を組み、秋の新人戦では是非打倒旭商したいです。

高体連春季大会

北高 25-2 東栄

北高 0-11 旭商

高体連全道大会

北高 0-20 とわの森

●剣道部

今年の支部大会は、「男女団体一位」を目標に日々努力してきました。その結果男子団体は四十二年ぶり二度目の優勝に輝きました。また女子団体は惜しくも第二位に終わり、あと一歩のところまで涙のみでした。

全道大会では男女団体ともに第三位以上を目標に試合に臨みました。男子団体は本数勝ちや代表決定戦を勝ち抜き決勝トーナメントに進出。準々決勝で東海大四には敗れたものの、気迫あふれる内容で敢闘賞に輝きました。また女子団体も決勝トーナメントに進出し、貴重な経験をする事ができました。

特筆に値するのが男子個人で澤渡が第三位に入賞したことです。準決勝で敗れ、インターハイ出場権を逃したものの、多くの観衆から賞讃の拍手をもらっていました。今回の結果に満足することなく、全道優

勝を目標に、これからも日々努力をしたいと思えます。

高体連旭川支部大会

男子団体 優勝(44年ぶり二度目)

女子団体 準優勝

男子個人 澤渡優勝、富樫5位、松本6位

女子個人 岸田準優勝、磯4位

佐久間5位、上田6位

高体連全道大会(小樽市)

男子団体 ベスト8(敢闘賞受賞)

女子団体 ベスト8

男子個人 澤渡3位(優秀選手賞獲得)

女子個人 富樫・松本2回戦敗退

岸田3回戦敗退

●陸上部

陸上部は、今春に新たな部員たちが加わり二十六名という大人数で構成される部となりました。多くの仲間がいることは楽しいことではありますが、競技の特性上同じ部の仲間同士で争うことになることもあります。そのため、本当に出場したい競技に出られなかった部員もいましたが、去る五月三十日から三日間行われた高体連旭川支部予選に全員が出場してきました。

そこで十四名の部員が全道大会へとコマを進め、その舞台で思い切り競技を楽しみました。そして一名の部員が全国大会への切符を手に入れました。

陸上競技は孤独な競技では決してありません。たしかに一人でなんとかするしかないことのほうが多いですが、競技中に聞こ

えてくる声援が競技者の力を十二分に引き出すこともあるのです。チームメイトの力は絶大です。

僕らはこれからも大切な仲間たちと共に己の限界へたゆまぬ挑戦を続けていきます。全道大会入賞者

3年 武石 良平 (5000m w3位)

全国大会出場権獲得

1年 高島 舞 (3000m w7位)

●男子バスケットボール部

私達は現在、二年生九名、一年生九名、マネージャー三名で活気あふれる活動をしています。先月にあつた高体連では、ベスト四に入るのを目標に頑張ったのですが、二回戦で強豪校(旭大高)と当たり実力の差を見せつけられてしまいました。しかし、決して勝てない相手ではないと思えました。なので、これからもしっかりとみんなで声を出し合いながら元気のある練習をし、ベスト四を目指してチーム一丸となって頑張っていきたいと思えます。

●女子バスケットボール部

私達は現在二年生三名、一年生十三名、マネージャー一名で活動しています。顧問も変わり、二・三年生は初め戸惑いもありましたが、五月三十日に行われた高体連では第一シードのチームと当たり、結果としては負けてしまいましたが一人一人が力を出しきって最後まで戦えました。

そして新チームになり、二年生は人数が多いのでレギュラー争いがあつて練習も

厳しくなり、辛いこともあると思えますがそれをみんなで支えあつて、練習中はお互いに厳しくし合つて高め合いながら、すばらしいチームを作つていきます。私達は全道大会に出場して勝ち上がつていく事を目標としているのでこれからの練習一日一日を大切にして練習に励んでいきたいです。

高体連旭川支部予選

旭川北 72-29 旭川農業

旭川北 39-110 旭川藤女子

●山岳部

我々山岳部は現在部員四名(二年生四名)で活動しています。今年に残念ながら新入部員を確保することはできませんでした。来年は新入生歓迎会での今年の失敗を活かし、山岳部に新しい風を吹き込ませたいと思つています。今回の高体連は八チーム中三位という成績で惜しくも全道大会へ出場することはできませんでした。今年の地区大会は旭岳で行われ、大きなトラブルが起ることもなく無事下山できましたが、数々のミスが発覚しあと一歩及びませんでした。来年の大会では、装備を完璧にして挑み、ぜひ全道大会へ出場したいと思えます。今後は秋まで月数回行う練習登山を通し、体力・歩行技術の向上や、山についての知識増大を目指し、最終的には「山の主」と呼ばれるような強者になれるように日々精進していきたいと思えます。

●体操部

僕たち体操部は、先輩が引退してからは

一人で活動してきました。一人は大変でした。練習器具を出そうにも出せず、思うように練習ができない時もありました。一人きりの練習に挫けそうになる時もありました。しかし、そんな僕を支えてくれたのは卒業していった先輩たちでした。だから先輩たちのためにも、よい成績を残そうと、一生懸命練習しました。

そして旭川で行われた全道大会に出場しました。今までの練習の成果を十分に発揮できるように、力いっぱい演技した結果、四位に入賞することができました。全国には行けなかつたけど、悔いが残らないで引退することができました。ただ一つ気になることは、体操部の今後です。このままだと廃部になってしまうので、誰か入つて下さい。

・第39回旭川市高校体操競技・新体操選手権大会
平成19年4月29日 旭川市総合体育館

体操競技高校男子 一部 個人総合
第1位 小野克也 (3-5)

体操競技高校男子 一部 種目別
ゆか 第1位 小野克也
あん馬 第1位 小野克也

つり輪 第1位 小野克也
跳馬 第1位 小野克也

平行棒 第1位 小野克也

・第60回北海道高等学校体操競技・新体操選手権大会旭川支部予選会

平成19年5月28日 旭川市総合体育館
体操競技高校男子 一部 個人総合

第1位 小野克也 (3-5)

体操競技高校男子 一部 種目別

ゆか 第1位 小野克也

あん馬 第1位 小野克也

つり輪 第1位 小野克也

跳馬 第1位 小野克也

平行棒 第1位 小野克也

・第60回北海道高等学校体操競技・新体操選手権大会

兼 全国高等学校体操競技・新体操選手権大会北海道予選会

平成19年6月14日~16日

旭川市総合体育館

体操競技高校男子 一部 個人総合

第4位 小野克也

●柔道部

五月下旬、旭川西高で高体連地区大会が開かれました。

本校から、三年の田中が73kg級に出場し、一回戦を勝ち抜きましたが、二回戦で敗退し惜しくも、全道大会出場はなりませんでしたが。

柔道部は、田中を中心とした一~二名でこの三年間頑張ってきました。これまでの健闘を讃えながら、今後の活躍を期待したいと思えます。

●アーチエリー部

現在、アーチエリー部は、三年生六名、二年生十五名、一年生一名の二十二名で活動しています。六月に行われた高体連全道大会では、男子団体四位、女子団体三位、個人戦では、女子の栗栖さんが準優勝と健

闘しましたが、惜しくもインターハイには及びませんでした。

三年生が引退した今、一、二年生の部員は、新人戦のインターハイ出場に向けて動きだしています。まずは、国体の最終予選通過を目指し、夏休みで技術力をつけ、九月の新人戦をむかえようと目標を設定しました。新体制で気持ちをあらたに、更なる飛躍を目指してがんばっています。

帯広 6月13～15日

男子団体 4位

男子個人ベスト16 菊池太郎・斉藤健人

女子団体 3位

女子個人 2位 栗栖絵美

ベスト16 裏野実樹



●少林寺拳法部

今年は十一名の一年生が入部してくれ、男子二十一名・女子十六名で活動しています。

三月の選抜大会では男子団体が昨年に続き予選を通過し、本選5位入賞という創部以来の快挙を成し遂げました。また、女子団体も予選通過・本選8位と過去最高の結

果を残せ、レベルの向上が見られました。

六月の高体連全道大会では、入賞者数に及びませんが、旅費等の都合で一年生を出場させられない我が校にとつては、総合優勝は手の届かないものだと思っていました。しかし、今年は様々な種目に入賞者が続出し、全国大会への切符を得ただけでなく、男女共初の総合優勝まで果たせました。

全国大会では、香からの勢いを維持し、少しでも上位に入れるよう頑張ります。

全道大会大会結果(入賞者)

〈男子〉総合1位

団体演武

☆山本・加地・藤井・西本・大林・水上

大西・川原(3年)組 1位

組演武(二段以上の部)

☆山本・加地(3年)組 2位

組演武(初段の部)

☆西本・藤井(3年)組 1位

☆古川・大林(3年)組 3位

組演武(段外の部)

☆岡崎・角田(2年)組 2位

単独演武(有段の部)

山本孝太(3年) 1位

藤井勇矢(3年) 2位

加地道太郎(3年) 3位

〈女子〉総合1位

団体演武

☆朝野・山本・高田・前田(3年)・渡

邊・佐々木・横山・巽屋(2年)組

1位

組演武(初段の部)

☆山本・朝野(3年)組 1位

☆高田・前田(3年)組 2位

単独演武(有段の部)

朝野 舞(3年) 3位

☆は全国大会(7月27～29日北九州市)

●囲碁部

五月下旬、札幌市で全道高校囲碁選手権大会が開催され、本校から三年の中原が女子個人戦に出場しました。

実力伯仲の戦いでしたが、黒番二目半足らず二回戦敗退となりました。

中原は過去二年、全国総文祭に出場をしていましたので、結果から見ると今回の敗退は残念ではありましたが、しかし、この三年間の囲碁部での活動は充実していて、立派な成績を残しました。

彼女の、今後の活躍を期待したいと思えます。

吹奏楽部は今春一年生二十五名を迎え、総勢六十七名で「聴衆に感動をあたえらるる演奏をしよう」を目標に部員全員が一丸となって精力的に演奏活動を行っておりま

す。現在は北高祭や各種コンクール、第三十二回定期演奏会に向け毎日練習に励んでいます。

〈平成18年度の活動内容および成績〉

・高文連上川支部音楽発表大会

吹奏楽コンクール部門

最優秀賞(地区代表)

・高文連全道大会

吹奏楽コンクール部門

最優秀賞(地区代表)

吹奏楽コンクール部門 奨励賞(第5位)

吹奏楽団体コンクール旭川地区予選 銀賞

個人・アンサンブルコンクール旭川地区予選

クラリネットソロ 金賞

ユーフォニアムソロ 金賞

金管八重奏 銀賞

クラリネット七重奏 金賞

第31回定期演奏会主催

第4回トリニティー・コンサート主催

北海道音楽大行進、アフターコンサート

参加

旭川吹奏楽祭参加

陸上自衛隊第2音楽隊ウィンターコンサート共演

イオンスプリングコンサート実施

校内活動

入学式、新入生歓迎会、野球応援、北高祭、卒業式にて演奏

生物部

今は秋の高文連に向け実験の準備をしています。主なテーマはテントウムシの斑紋の変異についてです。そのため、えさになるアブラムシを飼うための植物の栽培を中心に活動しています。夏以降は、旭川周辺のクワガタ・カブトムシについての研究を始めたいと考えています。

美術部

昨年度の高文連大会では、全道大会参加権、並びに全国総文祭出品の権利を獲得することが出来ました。

学内においては、学校祭のロゴ、ポスター等、宣伝・装飾などのデザインや制作にも全面的に協力しています。

学校祭終了後は、高文連大会、有島展、学生全道展に向けて取り組む予定です。

これからも、日頃の成果を皆さんに喜んでいただけるような形で還元できるよう部員全員で仲良く協力しあい取り組んでいきたいと思えます。

・平成18年度の成績

高文連全道美術展・研究大会
(10月5日～6日 小樽市)

全国推薦作品 2年 高橋 香
全道優秀作品賞 3年 山口 茉莉

全道入薦 2年 中村 彩夏
2年 酒井 未和

支部佳作参加 2年 瀬戸はるか
2年 前田 杏寿



●音楽部

一年生がたくさん入部してくれて、せまい部室で楽しく活動しています。部員全員

音楽が大好きなので、これからも力を合わせてがんばっていきます。

●書道部

今年度の全道大会は函館で開催されますが、十六名の部員達は、今までにない活動をして全道出場を目指しております。また今年度は支部大会の当番校でもあります。

高文連上川支部書道展・研究大会
(旭川凌雲)

(特選) 3年 億貞 元子
黒田 初穂

洞 趙瑠
桑原 輝

(推薦) 3年 柴山 苑巳
1年 本間 梨那

2年 佐賀 愛未
丸井 詩織

1年 佐伯 沙織
関戸 香奈

近石 梨恵
松浦 友香

北北海道学生書道展
(奨励賞) 1年 松浦 友香

(特選) 1年 本間 梨那
近石 梨恵

(入選) 2年 長谷川恵里奈
今家 大輔

●演劇部

今年も部員三人、顧問二人の小さな所帯ですが、嬉しい、芝居は最低一人いればできるのですが、やっぱり生徒には、他人とともに

に、時には足を引っ張ったり、思いがけず助けたり助けられたり、という経験をしてもらいたい。それが人の世の常なのだからと新入部員を切望しています。

この人数では、自主公演もままならず、演劇部としての力量を上げる方法にも苦慮しています。

とかく面倒なことを嫌う風潮に、勇気を持って逆らえる人間を育てるためにも、地道に活動していきたいと考えています。

新一年生は、珍しくも男子なので、その辺の性根は据わっているようです。

こうなると、ごく普通の芝居はできそうにもないので、極力まだ誰も見たことがない、真に個性的な芝居をつくらなとなりません。

今年、北高にしかできない芝居作りが目標です。

●華道部

今年、一年生四名、二年生三名、三年生七名の計十四名で毎週水曜日に活動しています。立岩先生のご指導の下、華道に励む私達は学年を問わず仲が良く、教室に笑い声が響くこともしばしばです。

そんな華道部は、毎年同様の学校祭での作品展示をはじめ、昨年から応募しているインターネット花展への



出品などの活動を積極的に行っています。また、日々の活動の充実をはかる為、生けた花の記録もとるように努めています。

これからも先輩方によって積み上げられてきた四十年以上の伝統を大切に、華道を通して日本の伝統文化の美しさ、素晴らしさを学んでいきたいと思えます。

●茶道部

今年度は、一年生十名の入部があり、二年生五名、三年生八名の計二十三名でスタートしました。ここ数年入部希望者が多く、狭い作法室に生徒達が所狭しと溢れています。月曜日は、技芸講師の立岩先生のご指導の下、稽古に励んでいます。木曜日は、三年生が中心となり、基本練習の席入、挨拶の仕方、帛紗さばき等の割稽古を行なっています。普段は賑やかで元氣一杯の生徒達も、いざ開始となると物静かになり、姿勢を正し稽古に集中しています。

例年は、中間考査終了後から北高祭のお茶会に向けての稽古を始めますが、今年は早めに取組み五月の連休明けから始めています。日頃の活動の成果を披露できる唯一のお茶会で完璧なお点前をと意気込んでいます。当日は部員一同心を込めて、おいしいお菓子とお茶で多くのお客様をもてなし喜んで頂こうと思っています。

七月で三年生は退きますが、その後は二年生五名が一年生を導き、歴史ある北高茶道部の伝統の灯を受け継いでいってほしいと思えます。

これからも日本の伝統文化である茶道を

通して、人を心からもてなす精神を学び、心豊かな人間になれるよう稽古を積んでいきたいと思えます。

●インターアクト部

私達インターアクト部は、現在三年生一名、二年生一名、一年生一名の計三名で、旭川北ロータリークラブの御支援の下、様々な活動を行っています。主な活動内容は次のとおりです。

- ・北高周辺のゴミ拾い
- ・ゴミのポイ捨て禁止運動の参加
- ・清掃登山活動
- ・募金活動
- ・インターアクト地区大会
- ・フリーマーケット

今年も去年同様、卒業生が使用していた靴を回収・洗浄してフリーマーケットに出店しようと思っています。また今年には街頭での募金活動だけでなく、北高祭での募金、ブルリングや古切手、書き損じハガキの回収も行う予定です。

部員数は少ないのですが、精一杯活動していきたいと思っています。

●文芸部

今年度は、二年生二名、一年生三名の新しい仲間を迎えることができました。活動(創作)内容も、小説・詩・エッセイを中心に、より読みごたえのある作品にしようという意欲が多くなっています。今年度は支部研究大会の当番校でもあります。さらに活動を充実させ、上川支部各校との

交流を深めることで、各々、研鑽を積んでいきたいと思えます。

(主な活動)

- ・部誌『フアイタジア』(年三回発行)
- ・高等学校文化連盟文芸研究大会参加
- ・学校祭にて部誌・作品展示

●理科実験研究部

こんにちは、理研部です。今年度は三年生一名、二年生一名の計二名で活動しています。

今はちょうど学校祭での展示・演示に向けた準備をしています。皆とても忙しいですが、残された準備期間を有効に使い、よい展示ができるようにしていきたいと思えます。

また、他にも高文連大会などに向け、近年人体への影響が懸念されているアルミニウムに関する研究や科学館などの子どもの向けの演習協力などの活動も行っています。昨年度同様、部員数が少ないこともありなかなか大きな活動をするにはできませんが、それぞれが放課後などの時間をうまく活用して研究に取り組んでいます。今後も、過去の先輩方に恥じぬよう、充実した活動をしていきたいと思えます。

●放送部

意外な印象を受ける方も多いのですが、放送局にも大会があります。テレビやラジオの番組を制作して出品したり、朗読やアナウンスの技術を競ったりする大会です。過去にも優れた番組作品を制作し、2年連

続でテレビドキュメント部門の日本一になるなど、全国大会にも数多く進出してきており、現在は個人部門の成績が向上してきており、今年度はアナウンス・朗読の部門にそれぞれ1名ずつが進出します。

〔NHK杯高校放送コンテスト〕

上川・留萌地区大会(5月23・24日)

(於 旭川市民文化会館)

〈部門・制作担当責任者・結果〉

創作テレビドラマ部門

江崎 耕平 1位 (全道大会出場)

創作ラジオドラマ部門

水野 真衣 1位 (全道大会出場)

ラジオドキュメント部門

一刀 悠翔 2位 (全道大会出場)

アナウンス部門

小松あゆみ 1位 (全道大会出場)

水野 真衣 2位 (全道大会出場)

三浦 瑛美 3位 (全道大会出場)

朗読部門

大場 由梨 1位 (全道大会出場)

☆全道大会(6月20・22日)

(於 旭川市民文化会館・建設労働者福祉会館 サン・アザレア)

〈部門・制作担当責任者・結果〉

アナウンス部門

水野 真衣 入選 (全国大会出場)

小松あゆみ (奨励賞)

三浦 瑛美 (奨励賞)

朗読部門

大場 由梨 入選 (全国大会出場)

その他の番組の部門は全て選外

佐藤美紀展

miki sato exhibition

2007.7.18(wed) - 24(tue)

丸井今井 1条通6丁目左1号 9階美術ギャラリー

北高23期生の佐藤美紀さんが上記にて個展を開かれました。これからの活躍にも期待です。

週刊文春 林真理子の「今夜も思い出し笑い」ほか新聞コラム、単行本のカバー、カネボウの広告など各本面にて活動中。著作本に「まりこの音楽会」「園児のグッズとカントン服」などがある。

★北高祭「同窓会コーナー」へのお誘い★



北高の御好意で毎年7月第1土曜、日曜日の2日間、在校生、PTAと共に同窓会のテントを出しています。高橋邦弘氏が同窓会会長の時に発案され、山形前会長時代を経て今年9年目を迎えます。同窓会役員の皆様から提供して頂いた品々を販売し、その益金全額を学校を通し生徒会に支援カンパする活動です。

2日間同窓会役員が詰めていますので是非御立寄り下さい。同窓会の情報も入手できますよ。

旭川北高同窓会役員名簿

顧問	稲垣 勇	中一	事務局長	上野 敦子	北二二	幹事	石原 正敏	北一五	幹事	横山 直史
進藤 和行	中二	会計部長	齋藤千鶴子	北二三	幹事	伊藤 努	北一六	副幹事	渡辺 昇	
高橋 邦弘	北三	旭川北高岩手同窓会	牛崎 隼二	北六	幹事	伊藤 寛	北一七	副幹事	谷川 徹	
山形 積治	北八	旭川北高同窓会名寄支部	齋藤 覺	北七	副幹事	西野 宏	北一八	副幹事	廣田 秀美	
西館 勝友	北一三	支部長	神藤ツル子	北五	幹事	伊藤 徹男	北一六	副幹事	市川 徹	
石田 邦光	北一三	副支部長	片平 厚	北五	副幹事	千見寺希代子	北一七	副幹事	橋本佐智子	
山内千枝子	北一三	幹事	齋藤真理子	北五	副幹事	澤口 哲	北一七	副幹事	加藤 修	
八重樫和裕	北一八	幹事	宮腰 建一	北一四	副幹事	小川 幹雄	北一七	副幹事	中村 信幸	
尾崎 信彦	北二五	幹事	澤渡 泰人	北一四	副幹事	杉本 健二	北一八	副幹事	大川 孝一	
渡邊 久男	北三	幹事	塚越 英明	北一九	副幹事	藤田 和子	北一八	副幹事	大川 勝人	
山本 昌史	北八	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	安井 公夫	北一八	副幹事	北塔 光昇	
土肥 義光	北一四	幹事	坪内 晃	北二〇	副幹事	北島 孝夫	北一九	副幹事	鳴海 範子	
福地 登	北一三	幹事	安田 最次	北二一	副幹事	波岸 順子	北一九	副幹事	原田 重則	
遠藤 剛	北一三	幹事	巽 昭	北二四	副幹事	林 能道	北二〇	副幹事	大石 充也	
中村 悦郎	北一六	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	筒井 和子	北二〇	副幹事	原田 重則	
市川 陽一	北一六	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	阿部 信行	北二〇	副幹事	林 仁彦	
岡田真由美	北一六	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	堀川 勝義	北二一	副幹事	宮崎 哲佳	
東海林英也	北一七	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	齋藤 弘	北二一	副幹事	田中 康雅	
市山 力三	北一七	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	瀨川 哲男	北二一	副幹事	石田 正幸	
木村 公俊	北一七	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	柳谷 宏	北二二	副幹事	田村 正幸	
山中いつ子	北一九	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	西川 紀子	北二二	副幹事	菊地 一孝	
鈴木 弥生	北一五	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	佐々木新次郎	北二二	副幹事	平田千恵子	
平間 明鑑	北一六	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	龜谷 守	北二三	副幹事	石田 悟	
赤松 浩恵	北一〇	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	鈴木 紀明	北二三	副幹事	田村 正幸	
大石 充也	北一九	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	友田 鐵治	北二四	副幹事	宮崎 哲佳	
末廣 理一	北一四	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	佐藤 智之	北二四	副幹事	林 仁彦	
油屋 正	北一九	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	中辻 透	北二五	副幹事	大石 充也	
旭川北高札幌同窓会	北一五	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	武田 泰治	北二五	副幹事	原田 重則	
中島 尚俊	北一五	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	和嶋 昌幸	北二六	副幹事	鳴海 範子	
吉野 伸一	北一八	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	杉山 允孝	北二六	副幹事	原田 重則	
旭川北高東京同窓会	北一〇	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	園田 洋司	北二七	副幹事	大川 孝一	
河原 惟臣	北一〇	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	杉本 宗敏	北二七	副幹事	大川 孝一	
浜崎 泰子	北一一	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	細谷美代子	北二七	副幹事	大川 孝一	
丹保冬司夫	北一三	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	栗原 利勝	北二七	副幹事	大川 孝一	
浦木 勲	北一三	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	佐竹 翔三	北二八	副幹事	大川 孝一	
旭川北高同窓会	北一三	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	六角シゲ子	北二八	副幹事	大川 孝一	
旭川北高同窓会	北一三	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	元木貞哲賀	北二八	副幹事	大川 孝一	
旭川北高同窓会	北一三	幹事	小田島富男	北二〇	副幹事	城 章一	北二九	副幹事	大川 孝一	
旭川北高同窓会	北一三	幹事	堀越 英明	北一九	副幹事	佐藤 滋子	北二九	副幹事	大川 孝一	

当番期あいさつ



第四十二回同窓会実行委員長

北高三十一期 西分 健二

五年前、二十名程度しか集まれなかったサブ期の仕事を終えての反省会で盛り上がりを見せたものの、ついつい仕事にかまけて名簿作りは進まぬまま三十期の先輩からお声がかかり、昨年七月頃より実行委員会に出席させていただきました。

緻密な計画、膨大な金額に驚き、帰るのも忘れ、グランドホテルのロビーで有志による予備委員会を行っておりました。内容が明らかになるにつれ、その責任の重大さを認識いたしました。不思議と、私にその責任が果たせるのかという不安は募りませんでした。逆に、同期の仲間

ます。

また、これまでスムーズに準備を進めてこられたのも、先輩諸氏の築かれた伝統があつてのことであり、その流れを三十期の方々が非常にいていねいにまとめ、引き渡していただけたからこそと心より感謝しております。

さらに、この厳しい経済状況の折にもかかわらず、多くの方々に広告、会券、励ましのお言葉をいただき、北高を中心とする縦の糸と横の糸が見事に織り合わされ、伝統の絆を深めることができました。多くの方々に支えられたこの絆を、今後も大切にそして更に太くしていくの支えに私たち三十一期もなつていければと、これまでのご厚意に感謝しつつ思いを馳せているところです。

終わりにりましたが、本同窓会にご参加の皆様、そして各地でご活躍されておられる同窓生の皆様のますますのご健康とご活躍を心よりご祈念申し上げます。当番期代表の挨拶とさせていただきます。

次期当番期あいさつ



北高三十二期 幹事長

北高三十二期 澤田 俊哉

昭和五十四年四月に入学し、新たな仲間との希望に満ちた高校生活が始まりました。

第一印象は、新校舎で「きれいな学校だなあ」でした。なんとつて石炭ストープでなくスチームでカンカンうる

さいが大満足でした。間もなく伝統の応援団の洗礼があり、先輩方がとても大人に感じました。一く二歳の違いが別世界の人のようでした。正直言うと怖くて目を合わせられませんでした。

学年毎にアデイダスの運動靴とジャージが色分けされていたため下を見ながら歩いていた記憶があります。一年が青、二年が緑、三年が赤。

三十周年の記念式典がありました。二年になり生徒会の頑張りや夏服に白いポロシャツ着用が認められました。

その後、社会へ飛び出した私達はいつしか高校時代の事を忘れ無我夢中で

生きていました。そんな中である同期が、旭川を離れ心細く働いていると職場に北高卒の先輩がいて、先生等の話題で盛り上がったと伝え聞いた事がよくありました。

幹事長の転勤で交代してから同窓会の存在を知り、参加していると高校当時は口をきいた事もない同期と出会い、何故か仲良く会話が弾む。そういう不思議な場が同窓会でした。

また、もう一つの楽しみが校長先生からの現在の北高のお話でした。

さて、代々引継がれてきた伝統ある同窓会の第四十三回目の重責を仰せつかる事になりました。今まで諸先輩の方々にお世話になりっぱなしでしたが、恩返しのお気持ちを込めてなんとか後輩にバトンタッチできるように頑張ります。同窓生の皆様のご支援ご協力をよろしく願いたします。